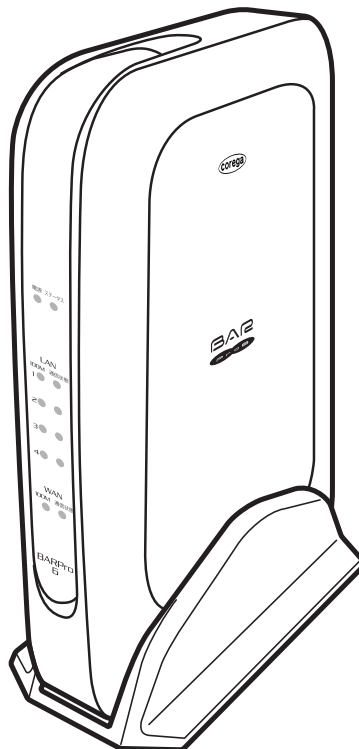




CG-BARPRO6




取扱説明書



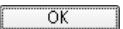
本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

本商品	CG-BARPRO6 を指します。
「 」 - 「 」 - 「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[]	[]で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：  → [OK]

●正式名称について

本書で使用しているソフトウェア名の正式名称は以下のとおりです。

〈Windows〉

Windows® Microsoft® Windows® Operating system

Windows® XP Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および
Microsoft® Windows® XP Professional operating system

Windows® 2000 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

Windows® Me Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system

Windows® 98SE Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system

●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目次

本書の読み方	2
PART1 まず準備が必要	5
使用環境を確認する	5
本商品の機能	6
PART2 ネットワークに接続しよう	7
パソコンのネットワークを設定しよう	7
● Windows XP で利用するときは	7
● Windows 2000 で利用するときは	10
● Windows Me / 98SE で利用するときは	14
Web ブラウザの設定をしよう	18
パソコンと本商品を接続しよう	19
● 本商品を設置する場所について	19
● 本商品の電源を入れるには	19
● パソコン、モデムと本商品を接続する	20
本商品の設定をしよう	21
● 簡単な接続方法	21
インターネットに接続してみよう	27
● 他のパソコンを接続する場合	28
PART3 設定ユーティリティを見てみよう	29
設定ユーティリティの全体構成について	29
設定画面の各機能	30
● CG-BARPRO6 (トップページ)	30
● 簡単設定	30
● システム設定	31
● LAN 側設定	33
● WAN 側設定	33
● IPv6	39
● ステータス	41
● ヘルプ	42
● 詳細設定	43
PART4 こんなときにはこの設定	58
ネットワークゲームをするには	58
● UPnP に対応したネットワークゲームの場合	58
● UPnP に対応していないネットワークゲームの場合	59
音声 / ビデオチャットなどのツールを使うには	60
● NetMeeting	60
● MSN Messenger (Ver.6.2 以降)	60
外部にサーバを公開するには	61
● バーチャル・サーバを使用する	61
● ダイナミック DNS を使用して URL でアクセスする	61
マルチ PPPoE で 2 つの接続先を使い分けるには	62
● プロバイダとフレッツ・スクウェアに接続する	62
● フレッツ・コネクト (NTT 東日本) を利用する	63

●フレッツ・コミュニケーション (NTT 西日本) を利用する	64
●複数固定 IP サービスを利用するには (Unnumbered 利用)	65
その他のルーティング設定例	67
●スタティックルートの設定	67
●RIP の設定	68
アッカ・ネットワークス、OCN を利用するには	69
IPv6 のサービスを利用するには	70
●設定の準備	70
●IPv6- トンネルを使用する	70
●IPv6- ブリッジを使用する	71
●IPv6- デュアルスタックを使用する	72

PART5 トラブルや疑問があったら 73

解決のステップ	73
取扱説明書や契約書を再確認する／管理者に確認する	74
Q&A	74
●インターネットに接続できない	74
●パソコン同士が繋がらない	76
●本商品の設定ユーティリティが起動しない	76
●本商品の設定ユーティリティにログインできない	76
●ファームウェアのアップデートに失敗した	77
●パソコンの IP アドレスを調べたい	77
●本商品のログイン名 (ユーザ名)、パスワードを変更したい	78
●最新のファームウェアを入手してアップデートしたい	79
●本商品の設定のバックアップを取る／元に戻す	81
●本商品を再起動する	82
●本商品を工場出荷時の状態に戻す	83
コレガのホームページの情報を活用する	84
それでも解決しなかったら	84
MAC アドレスについて	85
おことわり	85

使用環境を確認する

チェック1



プロバイダとの契約、工事は完了していますか？

本商品を使ってインターネットに接続するには、フレッツ・ADSL、Bフレッツ、Yahoo! BBなどの回線を使ったインターネット接続サービスへの加入が必要です。また、プロバイダによる工事が完了するまでは、インターネットへの接続はできません。

チェック2



モデムやケーブルはそろっていますか？

回線と接続するには、回線の種類に応じたモデムなどが必要になります。また、回線への接続が正しくできているか、確認してください（確認方法については、ご契約のプロバイダにお問い合わせください）。また、本商品とパソコンを接続するには、LANケーブルが必要になります。LANケーブルを購入される場合は、カテゴリ5以上のLANケーブルをご購入ください（コレガ製のLANケーブルをおすすめいたします）。

チェック3



設定に必要な情報は準備できていますか？

本商品の設定を行う際に、各サービス別に次の情報が必要です。プロバイダとの契約時に情報が提供されますので契約書類などで確認し、メモしておいてください。不明な場合はご契約のプロバイダにお問い合わせください。

■ PPPoE 接続の場合（フレッツ・ADSL / Bフレッツ、eo、TEPCO ひかり、アッカ・ネットワークス、OCN など）

- ・ ユーザ名
- ・ パスワード
- ・ サービス名（プロバイダから指定された場合のみ）
- ・ DNS サーバの IP アドレス（プロバイダから指定された場合のみ）

■ DHCP を利用する場合（Yahoo! BB / CATV など）

- ・ コンピュータ名（プロバイダから指定された場合のみ）
- ・ DNS サーバの IP アドレス（プロバイダから指定された場合のみ）

■ 固定 IP アドレスで接続する場合（固定 IP サービス）

- ・ WAN 側の IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイアドレス
- ・ DNS サーバの IP アドレス



上記の名称は、プロバイダによって異なる場合があります（例：ユーザ名→アカウント、ユーザ ID、ログイン ID など）。ご不明な点は、ご契約のプロバイダに確認してください。

チェック4



パソコンの環境はそろっていますか？

■ LAN ポート（100BASE-TX / 10BASE-T ポート）

パソコンにLANポートがない場合は、ご使用のパソコンに合わせ、次のいずれかの方法でLANポートを増設してください。増設方法については、パソコン、またはLANボード、LANカード、LANアダプタの取扱説明書をご覧ください。

- ・ 拡張スロット（PCIバスまたはISAバス）にLANボードを取り付ける
- ・ PCカードスロットにLANカードを取り付ける
- ・ USBコネクタにLANアダプタを取り付ける

■ OS

本商品は、Windows XP / 2000 / Me / 98SE など、TCP/IP をサポートする OS に対応しています。

■ Web ブラウザ

本商品の設定は、Webブラウザ（フレームに対応しているもの）で行います。パソコンにMicrosoft Internet Explorer 5.5 以降がインストールされているか、確認してください。



本商品の設定は Windows 環境で設定してください。他の OS では正常に設定できない可能性があります。

本商品の機能

本商品には、次のような機能があります。

- ・ マルチ PPPoE（2セッション）、PPPoE Unnumbered、ダイレクト PPPoE、固定 IP、DHCP の各種接続方法に対応し、さまざまなブロードバンド回線（ADSL / CATV / FTTH）に対応
- ・ 全ポート 10BASE-T / 100BASE-TX のオートネゴシエーションに対応
- ・ 全ポート（WAN × 1、LAN × 4）Auto MDI / MDI-X に対応
- ・ スループット値 99Mbps
- ・ 次世代インターネットプロトコル IPv6 に対応
- ・ フレッツ・コミュニケーション、フレッツ・コネクトなどの NTT の各種フレッツサービスに対応
- ・ SPI、DoS アタック、ICMP などセキュリティ機能搭載
- ・ VPN パススルー対応
- ・ ダイナミック DNS（DynDNS、IvyNetwork、@ Net DDNS）対応
- ・ バーチャルサーバ、DMZ 機能対応
- ・ ファームウェアのアップデートは Web ブラウザで可能
- ・ 付属の「簡単ルーター接続ソフト」で初心者でも簡単にインターネット接続が可能

PART 2

ネットワークに接続しよう

パソコンのネットワークを設定しよう

本商品を利用してインターネット接続ができるように、ご使用になるパソコンのネットワーク設定を行います。次の内容を確認してください（確認と設定の方法は、OSの種類など、ご使用になるパソコンの環境により異なります）。

- ・ ネットワークアダプタの設定
- ・ TCP/IP の設定

●Windows XPで利用するときは

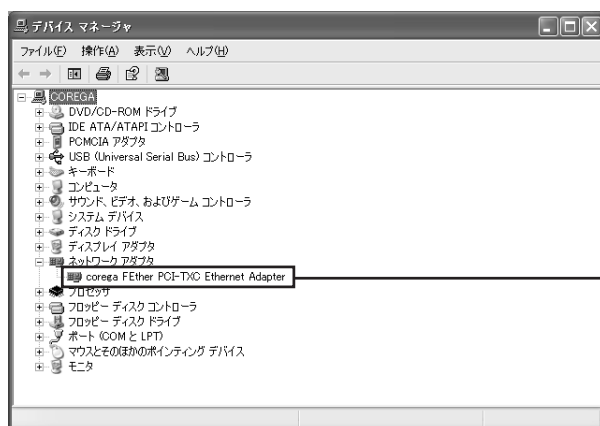


この作業は「コンピュータの管理者」または同等の権限をもつユーザ名でログオンして行ってください。ユーザ権限については、OSの取扱説明書をご覧ください。

■ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、「デバイスマネージャ」で確認します。

- 1 「スタート」 - 「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。
- 2 「ハードウェア」タブをクリックし、[デバイスマネージャ] をクリックします。
- 3 「デバイスマネージャ」画面の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。
- 4 ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。



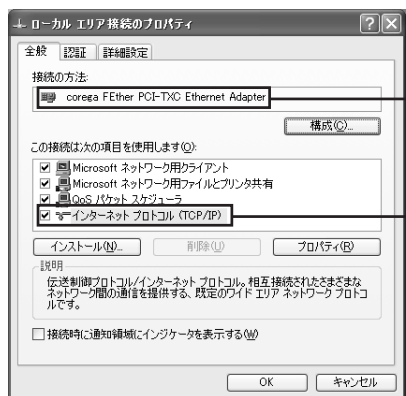
ネットワークアダプタ
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。



「X」や「！」マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をご覧ください。

■ TCP/IP プロトコルを確認する

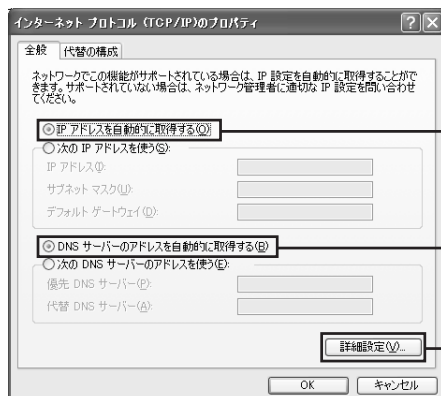
- 1 「スタート」 - 「コントロールパネル」 をクリックします。
- 2 「コントロールパネル」 の「ネットワークとインターネット接続」 をクリックします。「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。
- 3 「ネットワーク接続」 をクリックします。
- 4 「ローカルエリア接続」 を右クリックし、メニューから「プロパティ」 を選択します。
- 5 「全般」 タブの「インターネットプロトコル (TCP/IP)」 にチェックが入っているか確認します。



ネットワークアダプタ
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。

チェックマークが入っていることを確認してください。

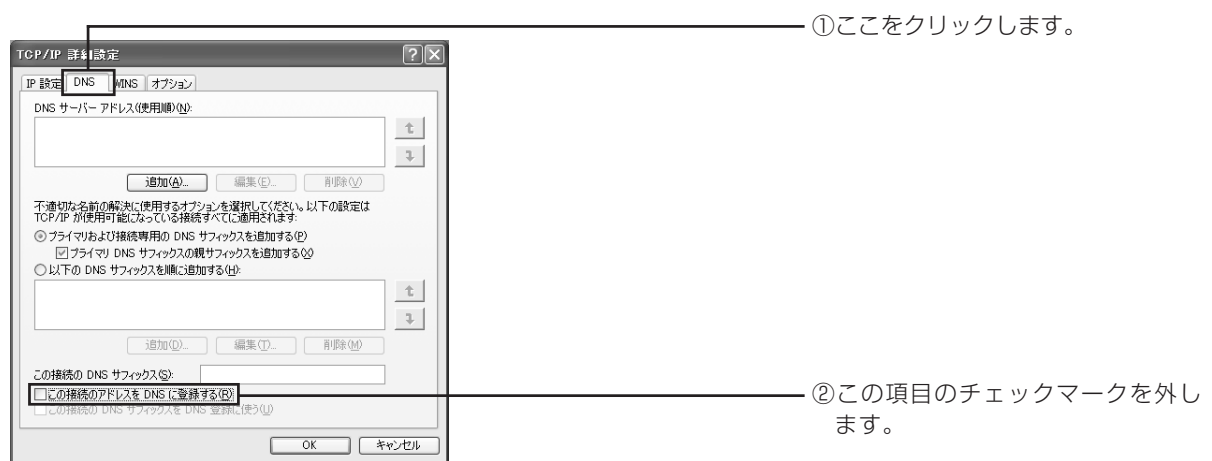
- 6 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」 を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 7 「全般」 タブの「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、[詳細設定] をクリックします。



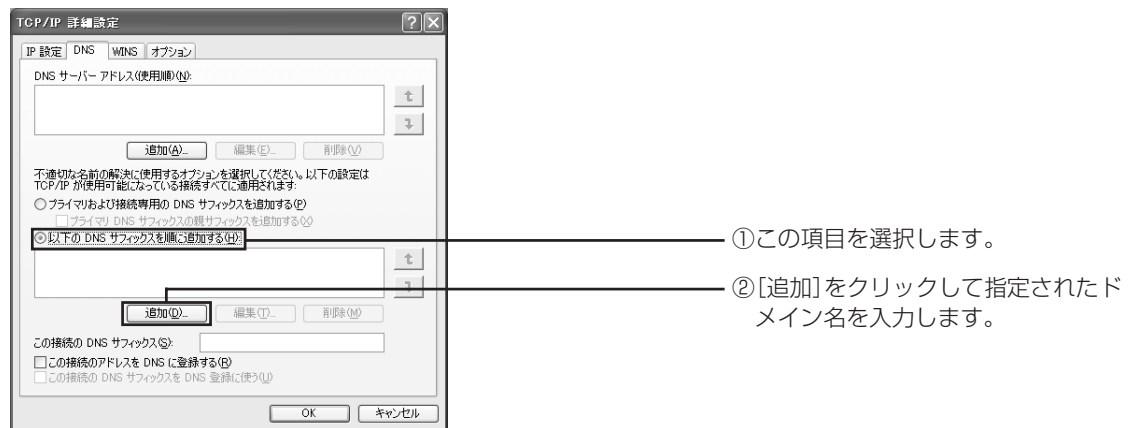
①この項目を選択します。

②[詳細設定] をクリックします。

- 8 「TCP/IP 詳細設定」画面の「DNS」タブをクリックし、「この接続のアドレスを DNS に登録する」のチェックを外します。



プロバイダからドメイン名も指定されている場合は、「以下の DNS サフィックスを順に追加する」を選択し、「追加」をクリックして指定されたドメイン名を入力してください。



- 9 「TCP/IP 詳細設定」画面の [OK] をクリックします。

- 10 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面の [OK] をクリックします。

- 11 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面の [閉じる] をクリックします。

- 12 再起動を促すメッセージが表示された場合は再起動します。



メッセージが表示されなかった場合も手動で再起動してください。

次に「Web ブラウザの設定をしよう」(P.18) に進みます。

●Windows 2000で利用するときは

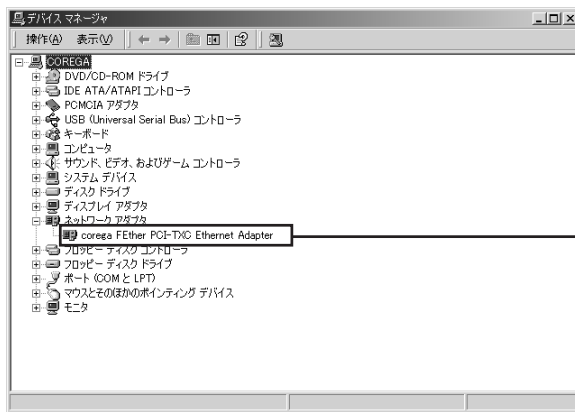


この作業は、「Administrator」または同等の権限を持つユーザ名でログインして行ってください。ユーザ権限については、OSの取扱説明書をご覧ください。

■ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、「デバイスマネージャ」で確認します。

- 1 デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。
- 2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
- 3 「デバイスマネージャ」画面の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。
- 4 ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。



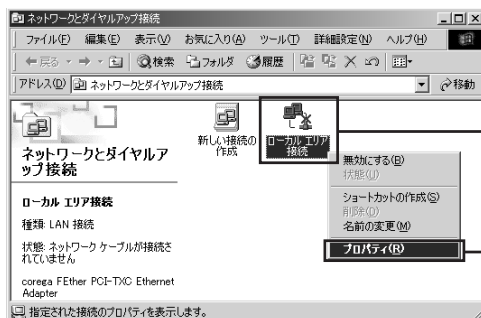
ネットワークアダプタ
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。



「X」や「！」マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みにになり、正常な状態にしてください。

■TCP/IP プロトコルを確認する

- 1 「スタート」 - 「設定」 - 「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。
- 2 「ローカルエリア接続」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

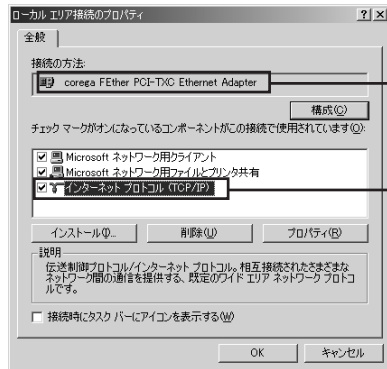


①「ローカルエリア接続」を右クリックします。

②「プロパティ」をクリックします。

※「ローカルエリア接続」の名称はご使用のパソコンの環境により異なる場合があります。

- 3 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」 が有効になっていることを確認します。



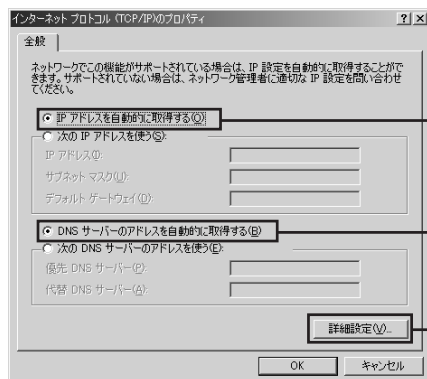
ネットワークアダプタ
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。

チェックマークが入っていることを確認してください。



「インターネットプロトコル (TCP/IP)」 が一覧にない場合は、「TCP/IP をインストールする」(P.13) をご覧ください。

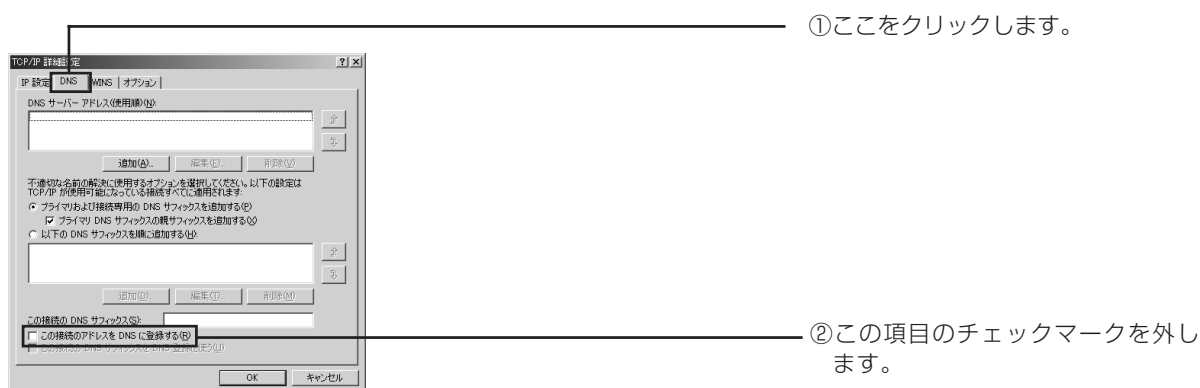
- 4 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」 を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 5 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、[詳細設定] をクリックします。



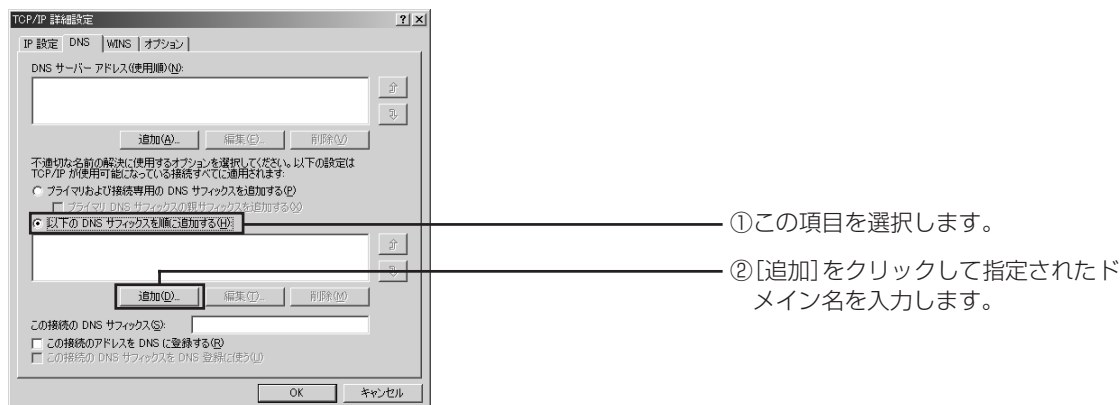
①この項目を選択します。

②[詳細設定] をクリックします。

- 6 「TCP/IP 詳細設定」画面の「DNS」タブを選択し、「この接続のアドレスを DNS に登録する」のチェックを外します。



注意 プロバイダからドメイン名も指定されている場合、「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択し、[追加] をクリックして指定されたドメイン名を入力してください。



- 7 「TCP/IP 詳細設定」画面の [OK] をクリックします。
- 8 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面の [OK] をクリックします。
- 9 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面の [OK] をクリックします。
- 10 再起動を促すメッセージが表示された場合は再起動します。



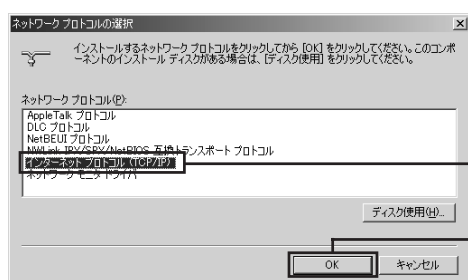
メッセージが表示されなかった場合も手動で再起動してください。

次に「Web ブラウザの設定をしよう」(P.18) に進みます。

■ TCP/IP をインストールする

TCP/IP がインストールされていない場合は、次の手順でインストールしてください。

- 1 「スタート」 - 「設定」 - 「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。
- 2 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。
- 3 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で [インストール] をクリックします。
- 4 「ネットワークコンポーネントの種類を選択」画面が表示されたら「プロトコル」を選択し、[追加] をクリックします。
- 5 「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されたら「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、[OK] をクリックします。



①「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択します。

②[OK]をクリックします。

- 6 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が有効になっていることを確認し、[OK] をクリックして画面を閉じます。
- 7 再起動を促すメッセージが表示された場合は再起動します。



メッセージが表示されなかった場合も手動で再起動してください。

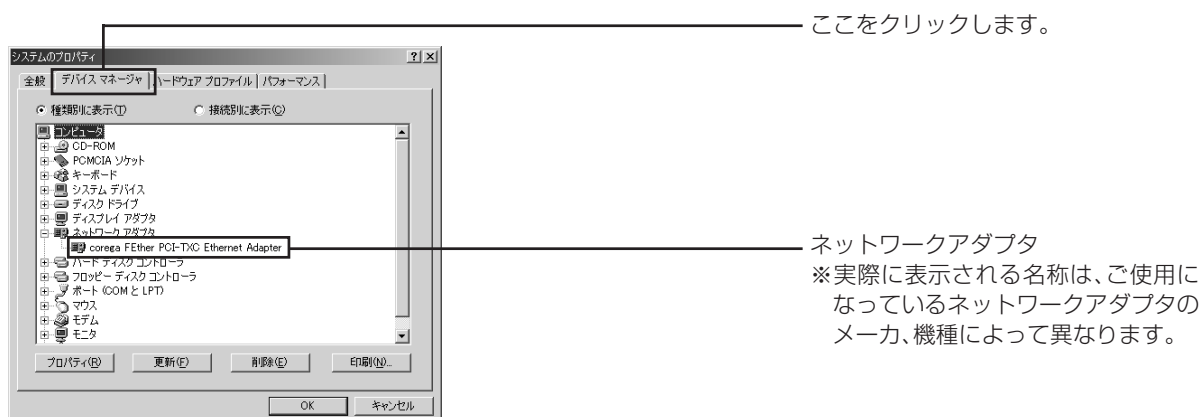
インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」の手順 4 (P.11 ~) からの設定を行ってください。

●Windows Me／98SEで利用するときは

■ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、「デバイスマネージャ」で確認します。

- 1 デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、表示されたハードウェアデバイスの一覧から「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。
- 3 ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。



- ・「×」や「！」マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みにになり、正常な状態にしてください。
- ・「Microsoft 仮想プライベートネットワークアダプタ」「ダイヤルアップアダプタ」などのアダプタ名が表示されていることがありますが、これらは本商品で使用するネットワークアダプタと関係ありません。

■TCP/IP プロトコルを確認する

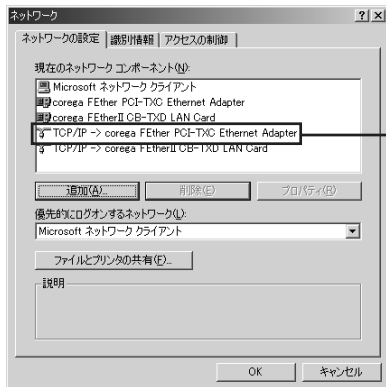
ここでは例としてWindows Meを使用していますが、Windows 98SEをご使用の場合も手順は同様です。

- 1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックします。



Windows Meの場合、よく使うコントロールパネルのオプションだけが表示されているときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると、「ネットワーク」が表示されます。

- 3 「ネットワークの設定」タブの「現在のネットワークコンポーネント」欄に「TCP/IP->XXXXX(ネットワークアダプタ名)」が表示されていることを確認します。



※画面は例です。

- ・「TCP/IP->」の横に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。
- ・ダイヤルアップアダプタがない場合は「インターネットプロトコル(TCP/IP)」、「TCP/IP」などと表示される場合もあります。



「TCP/IP->XXXXX(ネットワークアダプタ名)」が表示されていなかった場合は、「TCP/IPをインストールする」(P.17)をご覧ください。

- 4 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から「TCP/IP->XXXXX(ネットワークアダプタ名)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

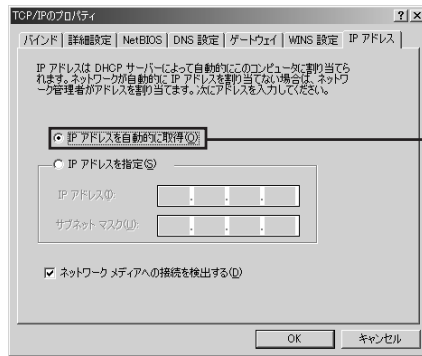


- ①ご使用のネットワークアダプタ名が表示されているものを選択します。
- ②[プロパティ]をクリックします。



「TCP/IP->XXXXX(ネットワークアダプタ名)」が複数表示されている場合は、ご使用になるネットワークアダプタを選択します。

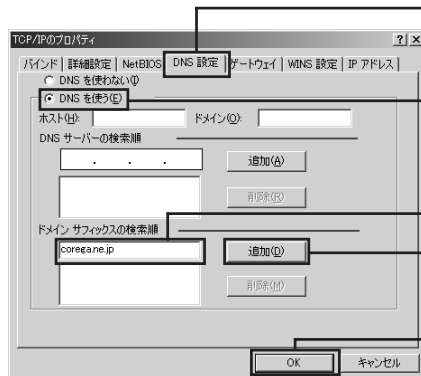
5 「IP アドレス」 タブの 「IP アドレスを自動的に取得」 を選択します。



この項目を選択します。



プロバイダからドメイン名も指定されている場合、「DNS 設定」 タブで 「DNS を使う」 を選択し、「ドメインサフィックスの検索順」の欄に指定されたドメイン名を入力して [追加] をクリックしてください。



①「DNS設定」タブをクリックします。

②「DNSを使う」を選択します。

③ドメイン名を入力します。
※画面は例です。実際にはプロバイダから指定されたドメイン名を入力してください。

④ [追加] をクリックします。

⑤ [OK] をクリックします。

6 「TCP/IP のプロパティ」 画面の [OK] をクリックします。

7 「ネットワーク」 画面の [OK] をクリックします。



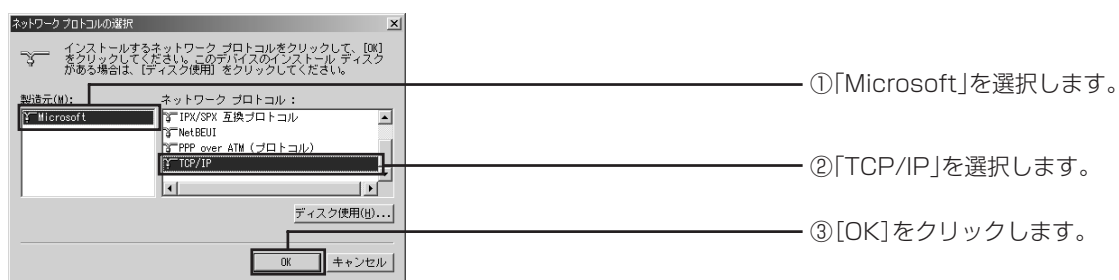
Windows の OS 用ディスクを入れるようにダイアログが表示された場合は、CD-ROM ドライブ (もしくはフロッピーディスクドライブ) に Windows の OS 用ディスクを挿入し、メッセージにしたがって操作します。操作後、再起動を促すメッセージが表示されたら再起動します。

次に 「Web ブラウザの設定をしよう」 (P.18) に進みます。

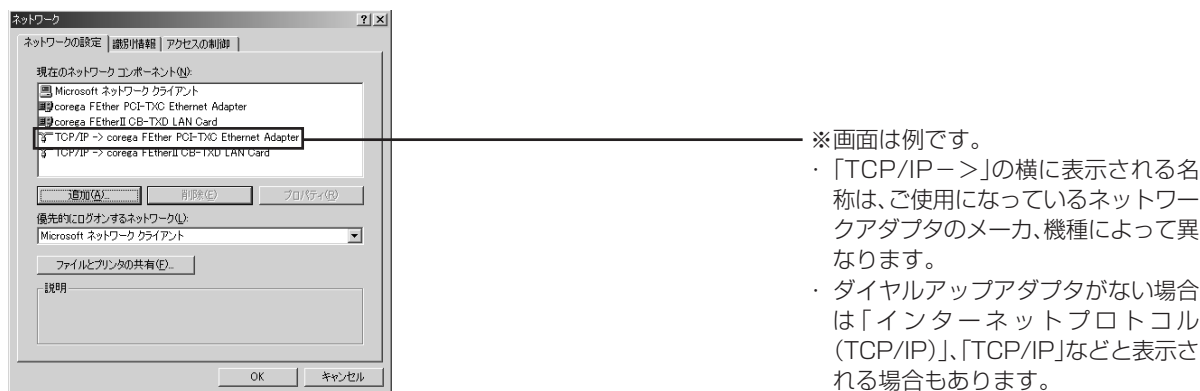
■ TCP/IP をインストールする

TCP/IP がインストールされていない場合は、次の手順でインストールしてください。

- 1 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 をクリックします。
- 2 「コントロールパネル」にある「ネットワーク」をダブルクリックします。
- 3 「ネットワーク」の画面で、[追加] をクリックします。
- 4 「ネットワークコンポーネントの種類を選択」画面で「プロトコル」を選択し、[追加] をクリックします。
- 5 「ネットワークプロトコルの選択」画面の「製造元」で「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」の一覧から「TCP/IP」を選択して [OK] をクリックします。



- 6 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧に「TCP/IP -> XXXXX (ネットワークアダプタ名)」が追加されていることを確かめます。



- 7 [OK] をクリックして「ネットワーク」画面を閉じると、再起動を促すメッセージが表示されますので再起動します。



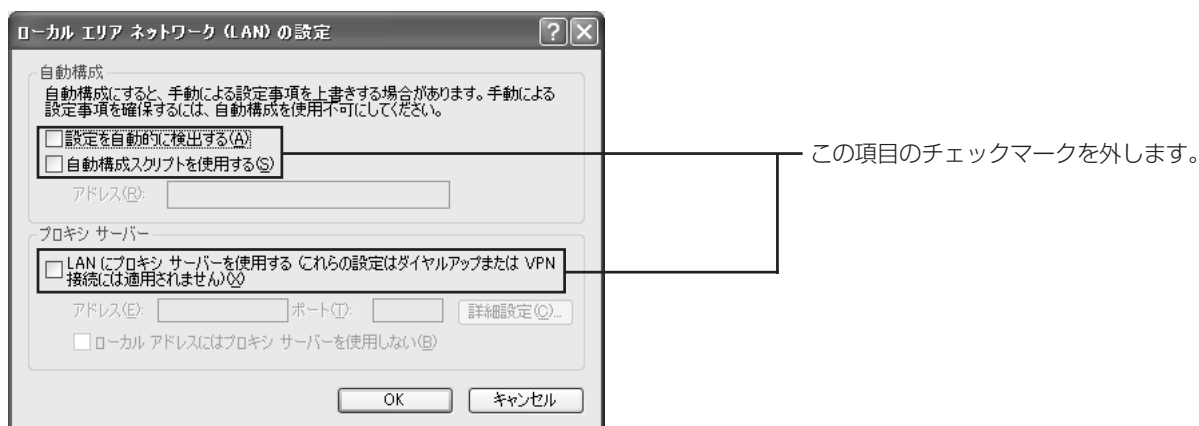
メッセージが表示されなかった場合も手動で再起動してください。

インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」の手順 4 (P.15 ~) からの設定を行ってください。

Webブラウザの設定をしよう

本商品を利用できるように、Web ブラウザの設定を行います。ここでは、Internet Explorer 6.0の場合の設定方法を例に説明しています。その他の Web ブラウザの場合は、Web ブラウザのヘルプなどをご覧ください。

- 1 Internet Explorer を起動し、「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。
- 2 「インターネットオプション」画面が表示されたら「接続」タブをクリックします。
- 3 「LANの設定」をクリックします。
- 4 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」画面で、「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」、「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。



- 5 [OK] をクリックします。
- 6 「インターネットオプション」画面で [OK] をクリックします。

次に「パソコンと本商品を接続しよう」(次ページ)に進みます。

パソコンと本商品を接続しよう

●本商品を設置する場所について

- ・本商品に同梱されている「はじめにお読みください」をご覧ください、使用時の注意などについてご確認ください。
- ・本商品の側面にある通気口は、放熱のため塞がないでください。
- ・本商品を安定させて設置する場所が見つからない場合は、付属の縦置きスタンドを本商品に取り付けることで、本商品を立てて設置できます。取り付け方法は、本商品に同梱されている「はじめにお読みください」をご覧ください。

■設置に適した場所

- ・水平で落下の恐れがない場所（机の上など）
- ・風通しのよい涼しい場所

■設置に適さない場所

- ・直射日光が当たる場所
- ・暖房器具の近くなど
- ・高温多湿でホコリの多い場所
- ・パソコンやモデムなど、発熱する機器の上

●本商品の電源を入れるには

■本商品の電源の取り方

本商品の電源は、たこ足配線などを避け、他の機器と別系統で取るようにしてください。



- ・必ず付属の専用ACアダプタを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。それ以外のACアダプタやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。
- ・本商品には電源スイッチがありません。電源プラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
- ・ACアダプタの電源プラグを電源コンセントに差し込んだままDCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

■本商品の電源の入れ方／切り方

本商品背面のDCジャックにACアダプタのDCプラグを接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込むと電源が入ります。ACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜くと電源が切れます。

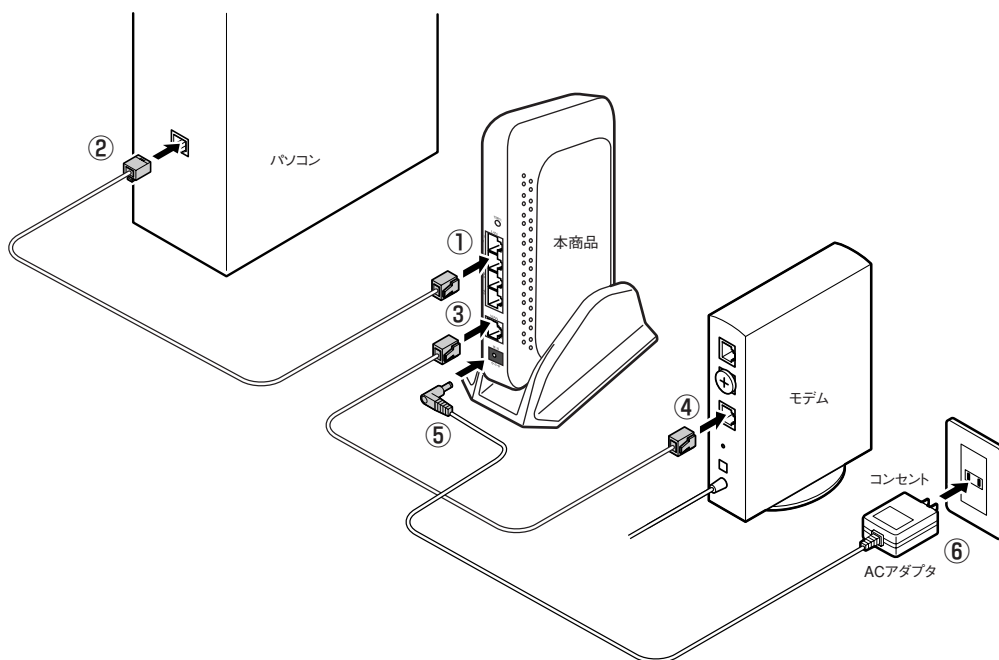
●パソコン、モデムと本商品を接続する

本商品とモデム、パソコンなど、ネットワーク接続する機器をLANケーブルで接続します。

■推奨ケーブルについて

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。本商品とパソコンを接続するLANケーブルの長さは100m以内にしてください。また、ケーブルは、100BASE-TXで接続する場合はカテゴリ5以上、10BASE-Tで接続する場合はカテゴリ3以上のLANケーブルを使用してください。

- 1 本商品、モデムまたは回線終端装置、パソコンなどネットワーク接続する機器の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。
- 2 本商品背面のLANポートにLANケーブルを接続します (①)。
- 3 LANケーブルのもう一方をパソコンのLANポートに接続します (②)。
- 4 本商品背面のWANポートに付属のLANケーブルを接続します (③)。
- 5 モデムまたは回線終端装置のネットワークポート(RJ-45)にLANケーブルのもう一方を接続します (④)。
- 6 モデムまたは回線終端装置の電源を入れます。
- 7 本商品背面のDCジャックに専用ACアダプタを接続します (⑤)。
- 8 本商品の専用ACアダプタをコンセントに接続し、本商品の電源を入れます (⑥)。本商品前面の電源、WANの各LEDが点灯していることを確認します。
- 9 パソコンの電源を入れます。
- 10 本商品前面の、ケーブルを接続したLAN側のポートの通信状態LEDが点灯していることを確認します。



本商品の設定をしよう

パソコンから本商品を使ってインターネットに接続できるように本商品の設定を行います。本商品の設定は Web ブラウザで行います。本商品に接続されているパソコンのうちの 1 台から設定作業を行ってください。Web ブラウザには Internet Explorer 5.5 以降をご利用ください。これ以外の Web ブラウザでは、正常にセットアップが行えない可能性があります。推奨ブラウザについては、P.6 の「チェック 4」をご覧ください。



本商品を設定する際には、本商品、モデムまたは回線終端装置、設定用パソコンのみを接続して設定することをおすすめいたします。

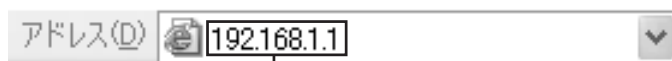
●簡単な接続方法

インターネットに接続できるように最小限の設定をします。インターネットへの接続方式はご契約されたプロバイダによって異なります。P.5 の「チェック 3」でメモした情報を準備してください。



設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが起動していると、本商品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティソフトを停止させて本商品の設定を行い、設定作業が終了してから再度起動させてください。セキュリティソフトの停止、起動の方法は、セキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。

- 1 本商品に接続したパソコンで、Internet Explorer を起動します。
- 2 Web ブラウザのアドレス入力欄に「192.168.1.1」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。



入力します。

- 3 ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されますので、ユーザ名の欄に「root」と入力し、[OK] をクリックします。



①この欄に「root」と入力します。

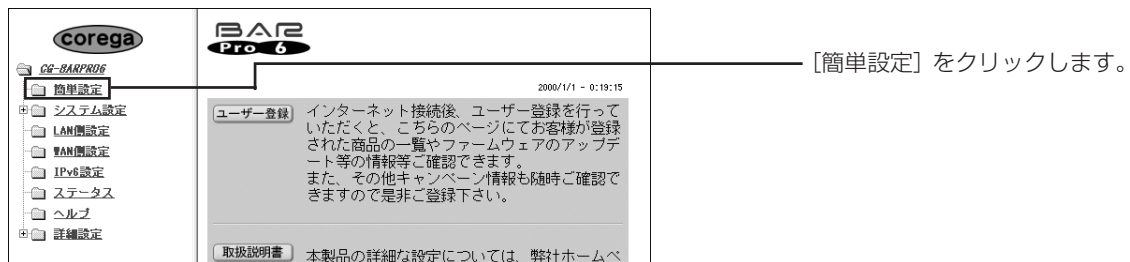
②[OK] をクリックします。



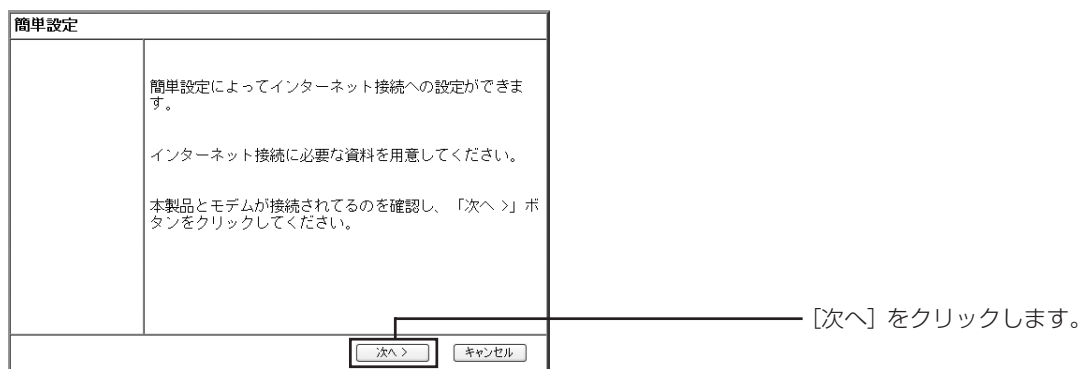
- ・工場出荷時の状態では、ユーザ名は「root」に設定されています。パスワードは設定されていません。
- ・ユーザ名、パスワードは変更できます。詳しくは「本商品のログイン名 (ユーザ名)、パスワードを変更したい」(P.78) をご覧ください。

- 4 設定ユーティリティが起動します。

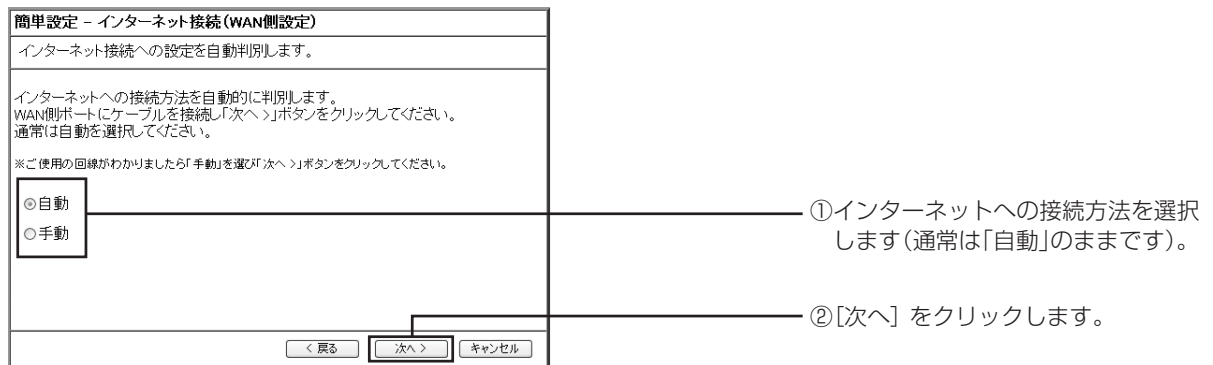
- 5 設定ユーティリティの左側にある「簡単設定」をクリックします。



- 6 「簡単設定」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



- 7 「簡単設定－インターネット接続 (WAN側設定)」が表示されたら、インターネットへの接続方法を選択し「次へ」をクリックします。通常は「自動」を選択します。



「手動」を選択する場合は、お使いの回線タイプをご確認の上、該当する接続方法を選択してください。

〈IP 自動取得 (DHCP) – Yahoo! BB、CATV など (P.23)〉

プロバイダや接続先のネットワーク (ルータ) から IP アドレスが特に指定されていない場合に選択します。DHCP 機能を利用して、IP アドレスが自動的に割り当てられます。

〈IP 固定設定－固定 IP サービスなど (P.24)〉

プロバイダや接続先のネットワーク (ルータ) から固定 IP アドレスを取得している場合に選択します。

〈PPPoE(FLET'Sシリーズ)–フレッツ・ADSL、Bフレッツ、eo、TEPCOひかり、アッカ・ネットワークス、OCNなど(P.25)〉

PPPoEと呼ばれる接続手順を使ってインターネットに接続する場合に選択します。プロバイダより「接続ユーザーID」と「接続パスワード」が割り当てられます。本商品ではプロバイダの情報を設定ユーティリティに登録すると、「フレッツ接続ツール」などを使用せずに自動的にインターネットに接続できます。

- 8 回線の確認をはじめます。しばらくすると、次のいずれかが表示されます。「次へ」をクリックし、それぞれの項目にお進みください。

「PPPoE 接続です。」 → 〈「PPPoE (FLET'Sシリーズ)」の場合〉 (P.25) をご覧ください。

「DHCP 接続です。」 → 〈「IP 自動取得 (DHCP)」の場合〉 (本ページ) をご覧ください。

「固定 IP 接続です。」 → 〈「IP 固定設定」の場合〉 (次ページ) をご覧ください。

「WAN 側ケーブルが接続されていません。「戻る」をクリックし、WAN 側ケーブルを接続してください。」 → WAN ポートのケーブルが正しく接続されているか、モデムや回線終端装置の電源が入っているかを確認してください。

[次へ] をクリックします。

- 9 接続タイプに応じて「簡単設定」の各項目を設定します。次の接続方法ごとの説明をご覧ください、設定を行ってください。

〈「IP 自動取得 (DHCP)」の場合〉

「IP 自動取得 (DHCP)」の場合は、「簡単設定」で設定する項目はありません。P.26の手順10に進んでください。

〈「IP 固定設定」の場合〉

この画面にご使用の環境に合った値を設定してください。

簡単設定 - 固定IPアドレス	
インターネット接続への設定を手動でしてください。	
プロバイダからのデータを元に設定してください。	
WAN側IPアドレス: <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	①
サブネットマスク: <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	②
ゲートウェイ: <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	③
DNSサーバー1: <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	④
<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="次へ"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

設定が終わったら[次へ]をクリックします。

項目名	入力例	説明
① WAN 側 IP アドレス	12.34.56.78	プロバイダから指定されたIP アドレスを入力します。
② サブネットマスク	255.255.255.0	プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力します。
③ ゲートウェイ	12.34.56.1	プロバイダから指定されたゲートウェイのIPアドレスを入力します。
④ DNS サーバー 1	12.34.56.98	ローカルにDNSサーバを設置する場合、またはプロバイダからDNSサーバのIPアドレスを提供されている場合に入力します。

設定が終わったら [次へ] をクリックします。

〈「PPPoE (FLET'Sシリーズ)」の場合〉

この画面は、下の表の入力例を使用した場合の例です。実際にはご使用の環境に合った値を設定してください。

- ①「接続ユーザー名」、「接続パスワード」を入力し、[次へ] をクリックします。

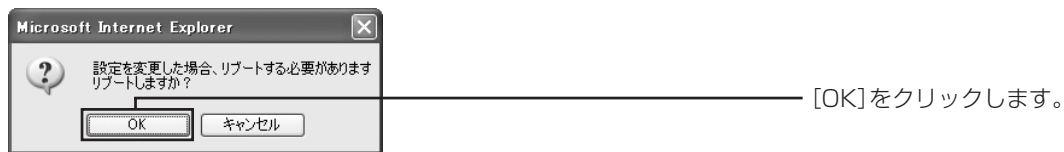
- ②フレッツ・スクウェアをご使用になる場合は、ご利用の地域を選択し、[次へ] をクリックします。

項目名	入力例	説明
①接続ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダより指定された「接続ユーザー名」を入力します（プロバイダによって呼び方が異なる場合があります）。
②接続パスワード	Password02	プロバイダより指定された「接続パスワード」(プロバイダによって呼び方が異なる場合があります) を入力します。画面上では「●」または「*」で表示されます。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で25文字までです。 ※「”」および「”」以降に入力した文字は保存されません。
③フレッツ・スクウェア	利用しない	FLET'S シリーズにご加入の場合で、フレッツ・スクウェアをご利用になる場合はご利用地域（「東日本」もしくは「西日本」）を、利用しない場合は「利用しない」を選択します。

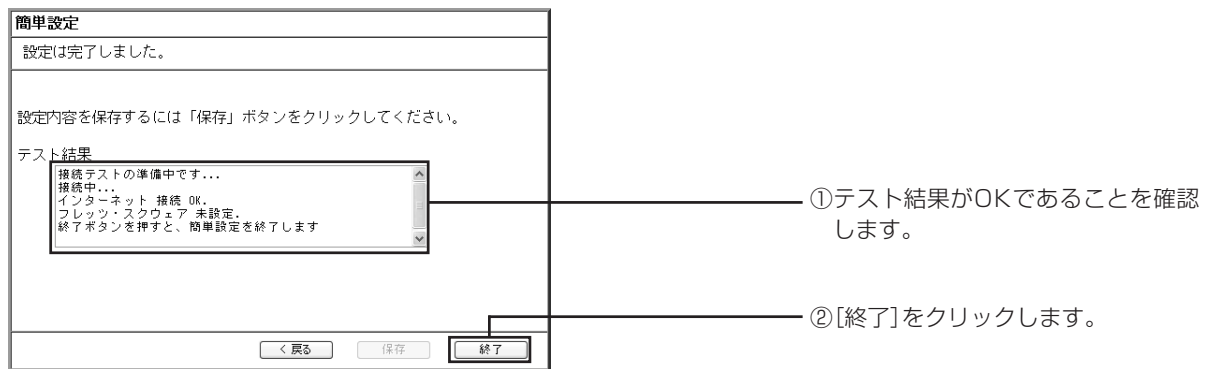
10 次の画面が表示されたら、[保存] をクリックします。



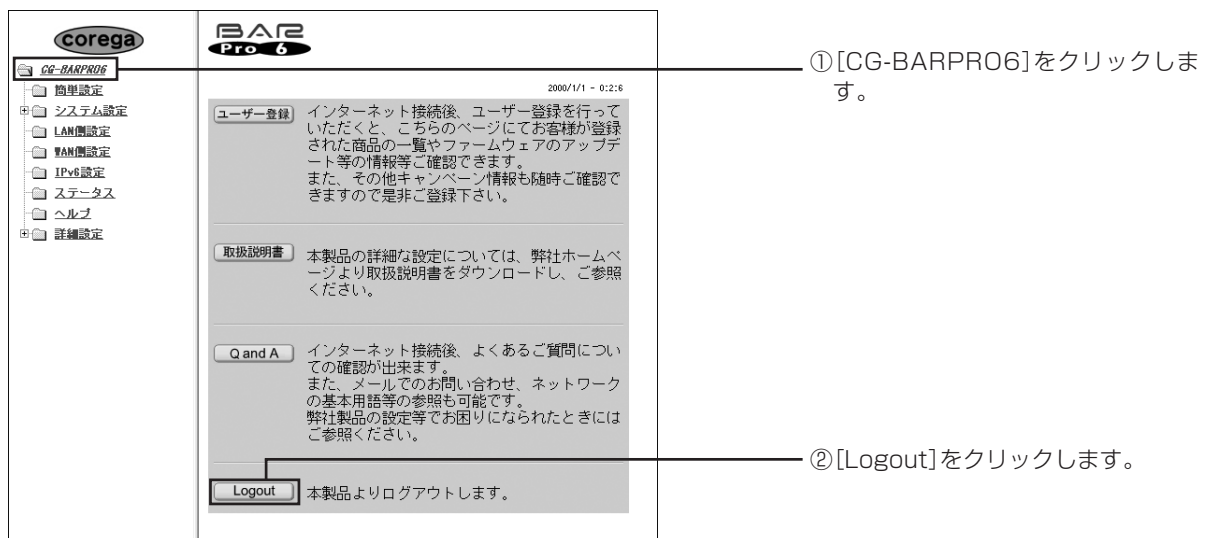
11 次のダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。



12 しばらくするとテスト結果が表示されるので、確認して [終了] をクリックします。パソコン、モデムと本商品の設定、接続に問題がなければ、テスト結果の欄に「OK」と表示されます。



13 画面左の [CG-BARPRO6] をクリックし、次の画面に戻ったら [Logout] をクリックします。



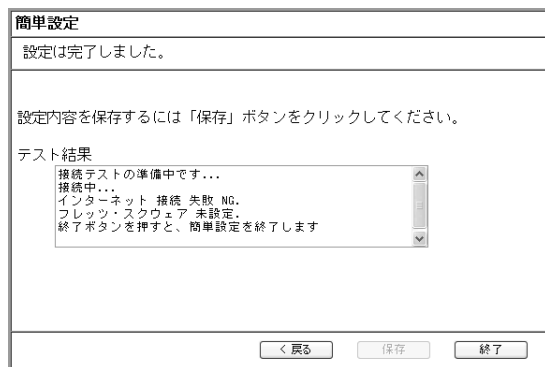
14 Web ブラウザを終了します。



- ・その他の設定項目については、「PART3 設定ユーティリティを見てみよう」(P.29)をご覧ください。本商品のより高度な使用方法については、「PART4 こんなときにはこの設定」(P.58)をご覧ください。
- ・PPPoEセッションを同時に2つ使用する(マルチPPPoE)場合には、「マルチPPPoEで2つの接続先を使い分けるには」(P.62)をご覧ください。

■テストに失敗したときは

テスト終了後、次のような画面が表示されたときは、メッセージの内容を確認して、再度ウィザードをやり直してください。



上の画面が表示された場合、次のような原因が考えられます。

- ・ユーザ名かパスワードの入力を間違えている
プロバイダからの契約書類などを確認して、正しく入力してください。
- ・モデムと回線が正しく接続されていない
モデムとスプリッタ、スプリッタとモジュラコンセントなどが正しく接続されているか、確認してください。

インターネットに接続してみよう

パソコンと本商品の設定が完了したら、インターネットに接続できるか確認します。

- 1 本商品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。
- 2 Webブラウザのアドレス入力欄に弊社のホームページアドレス「http://corega.jp/」を入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。
- 3 ホームページが表示されます。



ご契約のプロバイダによっては、設定後、インターネットに接続できるようになるまでに、時間がかかる場合があります。詳しくは、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

もし、インターネットに接続できなかった場合は、「PART5 トラブルや疑問があったら」(P.73)をご覧ください。

●他のパソコンを接続する場合

本商品に接続したいパソコンが他にもある場合は、「パソコンのネットワークを設定しよう」(P.7)、「Webブラウザの設定をしよう」(P.18)、「パソコンと本商品を接続しよう」(P.19)をご覧ください、同じ手順でパソコンの設定を行い、本商品とパソコンのLANポートをLANケーブルで接続してください。

PART 3

設定ユーティリティを見てみよう

本商品を使っていて「高度な機能を使いこなしたい」、「設定ユーティリティの詳しい情報が知りたい」と思ったときは、このPARTで項目を探してください。

設定ユーティリティの全体構成について

CG-BARPRO6 …設定ユーティリティのもくじです	P.30
簡単設定 …インターネットの設定をします	P.30
システム設定 …管理者のログイン名やパスワードなどの設定をします	P.31
ファームウェア更新 …ファームウェアの更新をします	P.32
LAN側設定 …パソコン側（LAN）の設定をします	P.33
WAN側設定 …インターネット側（WAN）の設定をします	P.33
IPv6設定 …IPv6動作モードやIPv6アドレスでのアクセス制限を行うときに設定します	P.39
ステータス …現在の各種システム情報を表示します	P.41
ヘルプ …各項目の説明を表示します	P.42
詳細設定 …詳細な設定をします	P.43
バーチャルサーバー …公開するサーバがあるときに設定をします	P.43
スペシャルアプリケーション …インターネットを使用するアプリケーションが動作しない場合はここで設定します	P.45
DMZ …LAN上のパソコンに全ての入出力アクセス可能とします	P.46
ダイナミックDNS …インターネット側からバーチャルサーバなどに接続できます	P.47
セキュリティ …セキュリティ設定をします	P.48
DHCPサーバ …DHCPサーバを使用するときは設定をします	P.51
PCデータベース …クライアントパソコンのIPアドレスを設定します	P.52
ログ表示 …ログ情報を表示、書き換えをします	P.53
アクセスログ …アクセス制限機能（P.47）を使用してブロックされた情報をログに保存します	P.53
DoS攻撃ログ …DoS攻撃が発生した際、そのログを保存します	P.53
インターネット接続ログ …インターネット接続に関するログを保存します	P.53
ルーティング …LAN上に他のルータなどがある場合はここで設定します	P.54
スタティック …スタティック・ルーティングを使用するときに設定します	P.54
ダイナミック（RIP） …ダイナミック・ルーティングを使用するときに設定します	P.54
レポート …設定されているすべてのルーティングリストを作成します	P.55
その他各種設定 …その他、必要に応じて設定します	P.55
バックアップDNS …バックアップ用DNSサーバがある場合は設定します	P.55
E-mail …本商品から自動的にログをメールで送信してお知らせすることができます	P.56
リモート …インターネット（WAN側）から本商品の設定をしたいときに設定します	P.57
UPnP …UPnP機能を使用するとき設定します	P.57
UPnP使用ポート …UPnPで使用しているポートを確認できます	P.57



各項目の設定を変更した際は、必ず「システム設定」－「システム・リブート」の[実行]をクリックし、本商品を再起動させてください。「システム・リブート」を実行しないと、設定変更内容が本商品に反映されない場合があります。

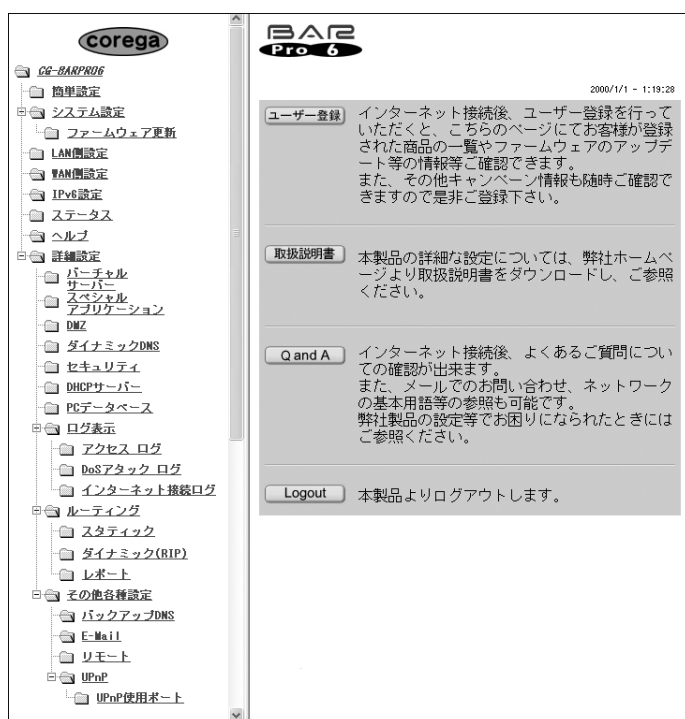
設定画面の各機能



- このPARTでの説明は、例を使用して説明しています。実際にはご使用の環境に合った値を入力してください。
- 各設定画面にある [HELP] をクリックすると、説明が表示されます。
- 各設定画面の例は、PPPoE 接続の画面です。IP 自動取得接続や IP 固定接続では、画面が例と違う場合があります。
- 設定変更を行った際は、各画面下にある [設定] または [更新] をクリックして、設定内容を保存してください。

●CG-BARPRO6(トップページ)

設定ユーティリティ起動時の画面です。ユーティリティの全体図を表示している（画面左側）他、インターネットに接続後は [ユーザー登録]、[取扱説明書]、[Q and A] を表示させることができます（画面右側）。終了時には [Logout] をクリックすると、画面を閉じることができます。



●簡単設定

簡単なインターネット接続の設定を行います。設定の詳細については、「PART2 ネットワークに接続しよう」の「本商品の設定をしよう」(P.21) をご覧ください。

●システム設定

本商品のシステムを変更するときに設定します。変更した後は「システム・リブート」の[実行]をクリックします。

項目名	内容
①管理者ログイン名	本商品の管理者用のログイン名を変更します。設定以降はこのログイン名でユーティリティ設定を行います。 ※工場出荷時は「root」に設定されています。
②管理者ログイン・パスワード	本商品の管理者用のパスワードを設定します。空欄にした場合、設定変更するときにパスワードは入力不要です。 ※工場出荷時は設定されていません。
③パスワードの確認	確認のため、再度②で入力したパスワードを入力します。
④ IP マスカレード・テーブル保持時間	IP マスカレード・テーブルの保持時間を設定します。設定時間を長くすることで、FTPサーバなどへの長時間の接続に対応します。通常のインターネット接続などでは設定する必要はありません。
⑤ URL ホーム	設定したURLをWebブラウザのアドレス欄に入力すると、本商品の設定ユーティリティのトップページを表示させることができます。 ・アドレスには「.」（ドット）を組み込んで3～24文字以内で設定します。 ・「.」（ドット）はアドレスの先頭、末尾には使用しないでください。 ※工場出荷時は「corega.home」に設定されています。
⑥ダイレクトPPPoE※	有効にすると、本商品のPPPoEを使用せずに、パソコン（本商品に接続され、インターネットに接続できるパソコン）のPPPoE接続ツールを使用して直接PPPoE接続します。無効にすると、常に本商品のPPPoE接続機能を使用します。
⑦時間設定	・自動設定にすると、上位のサーバを通して自動的に時刻を検出して設定します。 ・手動設定にすると、「(西暦)年/月/日」と「時/分/秒」の設定ができます。設定した時刻は、本商品の電源を切るとリセットされます。

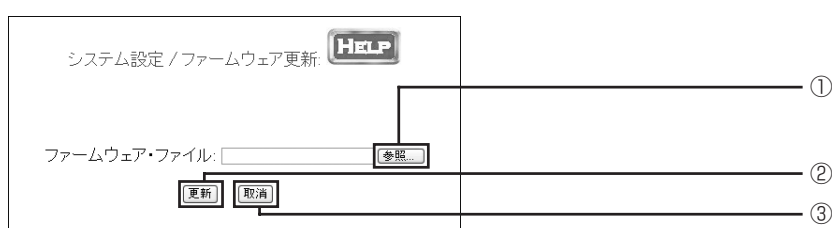
※ PPPoE

ブロードバンドネットワーク上で、LAN上のPPPoEによるダイヤルアップ機能を擬似的に実現させるソフトウェアのことです。

項目名	内容
⑧工場出荷時の状態へ戻す	本商品で設定した項目をすべて工場出荷時の状態に戻します(P.83)。※今までの設定は消去されますので、実行する前に設定した内容は控えておくことをおすすめします。
⑨システム・リブート	本商品の設定を変更した後に実行します。[実行] をクリックすると、本商品が再起動し、設定した内容が反映されます (P.82)。
⑩設定保存	本商品で設定した項目をパソコンにファイル形式で保存します。設定のバックアップなどにご使用ください (P.81)。
⑪設定読込	⑩で保存した設定情報を読み込みます (P.81)。
⑫ファームウェア更新	本商品のファームウェアを更新します。

■ファームウェア更新

弊社のホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてパソコン内に保存することができます。詳しくは、「最新のファームウェアを入手してアップデートしたい」(P.79) をご覧ください。



項目名	内容
① [参照]	ダウンロードなどで入手したファームウェアの保存先を選択するときにクリックします。
② [更新]	本体のファームウェアの更新を開始します。
③ [取消]	本体のファームウェアの更新を中断します。



- ・更新中は絶対に本商品の電源を切らないでください。
- ・更新中にブラウザの操作をすると、ファームウェアの更新は中断されます。

●LAN側設定

LAN側のIPアドレス、サブネットマスクを設定します。LAN側のIPアドレスを変更したい場合に設定してください。

項目名	内容
① MAC アドレス	本商品の LAN 側の MAC アドレスが表示されます。
② LAN 側 IP アドレス※ ¹	本商品の LAN 側の IP アドレスを入力します。IP アドレスの値は「0～255」までの数字と「.」（ドット）で入力します。 ※工場出荷時は「192.168.1.1」に設定されています。
③サブネットマスク※ ²	本商品のLANインタフェース※ ³ のサブネットマスクを入力します。サブネットマスクの値は「0～255」までの数字と「.」（ドット）で入力します。 ※工場出荷時は「255.255.255.0」に設定されています。

※ 1:IPアドレス

TCP/IPプロトコルを使ったネットワークで、コンピュータを識別するためのアドレスのことです。

※ 2:サブネットマスク

IPアドレスの先頭部分となり、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

※ 3:インタフェース

2つのものの中で情報のやりとりを仲介するものです。

●WAN側設定

WAN側のIP自動取得（DHCP）／IP固定、PPPoEの設定を行います。設定変更をしたい項目をクリックしてください。変更した後は「システム・リポート」（P.31）を実行します。

Yahoo! BB、CATV など	IP 自動取得（DHCP）／IP 固定（次ページ）
フレッツ・ADSL、B フレッツ、eo、TEPCO ひかり、アッカ・ネットワークス、OCN など	PPPoE（P.35）



本商品は WAN 側の通信方式を選択できます（通常は変更する必要はありません）。変更する際には、次の画面と表をご覧ください、お使いの環境に合わせて設定してください。

項目名	内容
①リンク速度	本商品と WAN 側に接続する機器間のリンク速度を選択できます。
② MDI 切替	本商品の WAN ポートの MDI/MDI-X を切り替えることができます。

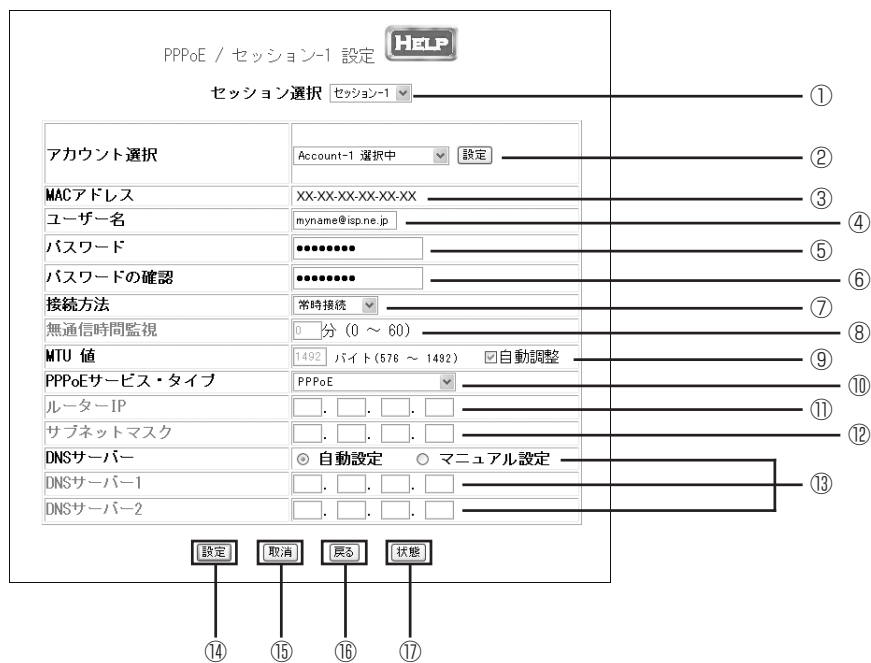
■ PPPoE…フレッツ・ADSL、Bフレッツ、eo、TEPCOひかり、アッカ・ネットワークス、OCNなど PPPoE アカウント（インターネットに接続する際に必要なID）の設定をします。



・セッション-1/-2 設定

PPPoE を使用するときの設定をします。設定前にプロバイダより指定された「接続ユーザー名」、「接続パスワード」などをご確認ください。

〈セッション-1〉



項目名	内容
①セッション選択	上の画面を表示させるときは「セッション1」を選択します。
②アカウント選択	・5つのアカウントを登録できます（「セッション1」で使用したアカウントは「セッション2」では使用できません）。 ・アカウントを選択して、④～⑩までの設定を変更し、選択しているアカウントに保存できます。またアカウント名の右側にある「設定」をクリックすると名称を変更できます。
③MACアドレス	本商品のWAN側（インターネット側）MACアドレスを表示します。
④ユーザー名	プロバイダ（ISP）より指定された「接続ユーザー名」を入力します。
⑤パスワード	プロバイダより指定された「接続パスワード」を入力します。

項目名	内容
⑥パスワードの確認	確認のため、再度⑤で入力したパスワードを入力します。
⑦接続方法	<p>■常時接続 常にインターネットへ接続します。何らかの原因で接続が切れた場合、自動的に再接続します。</p> <p>■トリガー接続 インターネットへの接続が発生したときに、自動的に PPPoE 接続を行います。</p> <p>■手動接続 手動で接続しない限りインターネット接続を行いません。接続するときは「WAN 側設定」－「PPPoE」－「状態」(⑰)－「接続」の順にクリックして、接続してください。</p>
⑧無通信時間監視	プロバイダからのアクセス・ポイントへの接続後、通信を行わなくなつてから自動切断までの時間(分)を入力します(トリガー接続、手動接続のときのみ)。
⑨ MTU 値	プロバイダから指定された場合に「自動調整」のチェックを外して数値を入力します(通常は「自動調整」にチェックを付けてください)。
⑩ PPPoE サービス・タイプ	<p>PPPoE のサービスタイプを選択してください。</p> <p>■ PPPoE (セッション 2 設定可) 通常のマルチ PPPoE 接続で通信します。</p> <p>■ Unnumbered IP (セッション 2 使用不可) 複数のグローバル IP^{*1}を使用するサービスを利用する際に使用します。 ・ ルータ IP とサブネットマスクは、本商品の IP アドレスとして同じアドレスが WAN 側 / LAN 側に設定されます。 ・ グローバル IP を LAN 側 (パソコン側) で使用するときは、LAN 側 (パソコン側) でグローバル IP を固定で設定してください。</p> <p>■ Unnumbered IP+Private IP (セッション 2 設定不可) 複数のグローバル IP とプライベート IP^{*2}を同時に使用することができます。 ・ Unnumbered IP 設定に対してルータ IP を設定することで本商品のグローバル IP を使って IP マスカレード^{*3}機能を使用することができます。 ・ グローバル IP を LAN 側 (パソコン側) で使用する場合は、LAN 側 (パソコン側) でグローバル IP を固定で設定してください。</p>
⑪ルーター IP	プロバイダから割り当てられた IP アドレスを入力してください(⑩で Unnumbered IP または Unnumbered IP+Private IP を選択したときのみ)。
⑫サブネットマスク	プロバイダから割り当てられたサブネットマスクを入力してください(⑩で Unnumbered IP または Unnumbered IP+Private IP を選択したときのみ)。

※ 1:グローバルIP

インターネットで使用されるIPアドレスのことです。グローバルIPアドレスとも呼びます。

※ 2:プライベートIP

イントラネットやLAN組織内で自由に発行できるIPアドレスのことです。プライベートIPアドレスとも呼びます。

※ 3:IPマスカレード

グローバルIPを企業などで1つ持ち、複数のパソコンで共有する機能です。企業内で持つプライベートIPとグローバルIPを相互に変換することで実現できます。

項目名	内容
⑬ DNS サーバー	プロバイダから指定された DNS サーバの IP アドレスを入力します。 ■自動設定 DNS サーバの IP アドレスが自動割り当ての場合選択します。 ※サーバの値は自動的に設定されます。 ■マニュアル設定 プロバイダから DNS サーバの IP アドレスを指定されている場合選択し、IP アドレスを入力します。
⑭ [設定]	設定変更をした際、保存するときにクリックします。
⑮ [取消]	設定変更を取消したいとき、[設定] をクリックする前に限り、現在の設定変更する前の状態までキャンセルすることができます。
⑯ [戻る]	[PPPoE] 画面に戻ります。
⑰ [状態]	現在の状態を表示します。⑦で「手動接続」にしているときは、[状態] をクリックし、「PPPoE 1 管理」画面で [接続] をクリックします。

〈セッション-2〉

項目名	内容
①セッション選択	上の画面を表示させるときは「セッション2」を選択します。

※ その他の項目はセッション1と同じ設定内容です。

・接続先設定

PPPoE 設定画面で登録した「セッション2」で接続するネットワークの設定を行います（例：B フレッツなど）。

- 1 [接続先設定] をクリックします。

2 [追加] をクリックします。

IPv6 設定 / アクセス制限 **HELP**

登録済みサービス

サービス名	フィルタ	方向	サービス・タイプ	送信 IPv6 アドレス	宛先 IPv6 アドレス	プロトコル	開始ポート番号	終了ポート番号
① corega	Lan To Wan		TCP	xxxx.xxxx.xxxx.xxxx	xxxx.xxxx.xxxx.xxxx	ユーザー定義	0	65535

追加 修正 削除 設定 戻る

クリックします。

3 次の画面が表示されるので、各項目を設定してください。

PPPoE設定 / 接続先設定 / 追加 **HELP**

① 接続アカウント: Account-1 (S1)

② ルール選択: ドメイン名

③ ドメイン名: []

④ IPアドレス: [] . [] . [] . [] - []

⑤ ネットワーク: [] . [] . [] . [] / []

⑥ 開始ポート: [] (0 ~ 65535)

⑦ 終了ポート: [] (0 ~ 65535) NetBios

⑧ プロトコル: TCP/UDP

設定 戻る

項目名	内容
①接続アカウント	接続するアカウントを選択します。
②ルール選択	接続先に使用するルールを選択します。
③ドメイン名*	接続先のドメイン名を入力します。 例：www.corega.co.jp → 「corega」 www.flets → 「.flets/」
④IP アドレス*	接続先のIP アドレスを入力します。 例：http://192.168.10.1 → 「192.168.10.1-0」 ftp://192.168.10.1と192.168.10.2→「192.168.10.1-2」
⑤ネットワーク*	接続先のネットワークを入力します。 例：192.168.1.0～255 → 「192.168.10.0 / 24」 192.168.0.0～192.168.255.255 → 「192.168.0.0 / 16」
⑥開始／終了ポート*	接続先の開始および終了ポート番号を入力します。 例：http://www.corega.co.jp → 「80-80」 ftp://corega.co.jp → 「20-21」
⑦NetBios	NetBiosプロトコルを使用する場合に選択します（通常は選択する必要はありません）。
⑧プロトコル*	使用するプロトコルを選択します。

※「ルール選択」で選択した項目によっては入力できないことがあります。

●IPv6設定

IPv6 設定は、ルータの IPv6 動作モードや IPv6 アドレスでのアクセス制限を行う場合に設定します。

The screenshot shows the IPv6 configuration window with the following settings and callouts:

- ① IPv6 モード: トンネル (Tunnel)
- ② IPv6 プレフィックス設定: 3Fe-0501-fff-0100 / 64 (手動入力)
- ③ RA機能: 無効 (Disabled)
- ④ トンネル設定: 接続サービス (OGNL2TF), アカウント, パスワード, 接続サーバ名, PPPキープアライブ (30)
- ⑤ IPv6 アクセス制限 (IPv6 Access Restriction)

項目名	内容
① IPv6 モード	IPv6 動作モードを変更できます。
② IPv6 プレフィックス設定	IPv6 モードが「デュアルスタック」のとき、プレフィックス値の自動／手動を変更できます。通常は自動取得にしてお使いください。
③ RA 機能	IPv6 モードが「デュアルスタック」のとき、IPv6 プレフィックス値を自動的に割り当てる技術です。通常は「有効」にしてお使いください。
④ トンネル設定	IPv6 トンネル接続を使用する場合に設定します (IPv6 モードで「トンネル」を選択した場合のみ)。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 接続サービス 本商品が対応している IPv6 トンネル接続サービス名を選択できます。 ■ アカウント IPv6 トンネル接続プロバイダより指定されたアカウント名を入力します。 ■ パスワード IPv6 トンネル接続プロバイダより指定されたパスワードを入力します。 ■ 接続サーバ名 IPv6 トンネル接続に使用されるサーバ名を入力します。 ■ PPP キープアライブ トンネルサーバとの接続を維持するための PPP LCP パケットの送信間隔を指定します。IPv6 接続プロバイダより指定がある場合は、指定されている送信間隔を選択します。 <p>※ FB Feel6 を使用するには、Feel6 アカウントを取得する必要があります。Feel6 アカウントは、http://start.feel6.jp/start/より取得ください。</p> <p>※ Feel6 は PPPoE 接続時のみ使用できます。</p>
⑤ IPv6 アクセス制限	IPv6 アドレスでのアクセス制限をサービスごとに設定できます。



「IPv6 のサービスを利用するには」(P.70) もあわせてご覧ください。

・IPv6 アクセス制限

ここではアクセス制限の設定を行います。

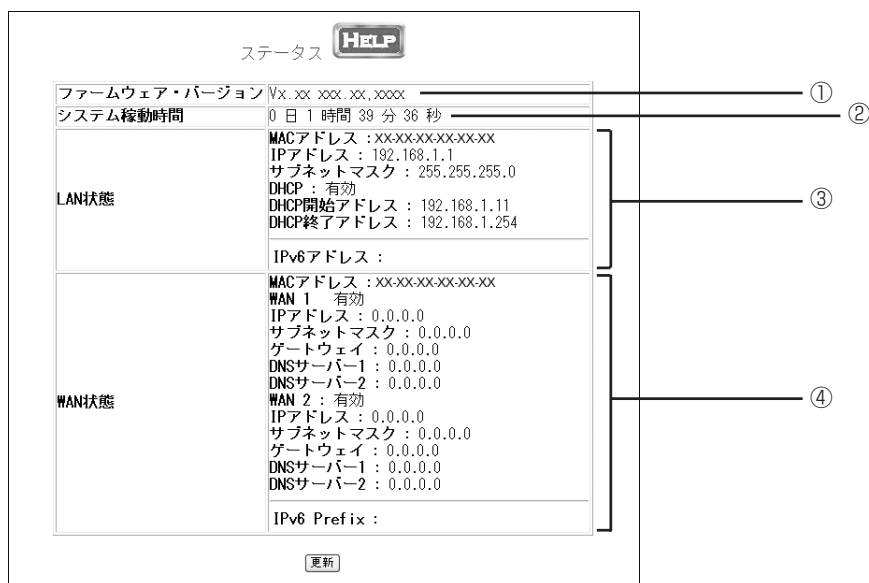
- 1 「追加」 を押して入力画面を表示します。

をクリックします。

項目名	内容
①サービス名	追加登録するとき、任意のサービス名を入力します。
②送信 IPv6 アドレス	送信元端末の IPv6 アドレスを指定します。
③宛先 IPv6 アドレス	宛先端末の IPv6 アドレスを指定します。
④フィルタ方向	out : LAN 側から WAN 側方向をフィルタします。 in : WAN 側から LAN 側方向をフィルタします。
⑤サービス・タイプ	フィルタリングの対象となるサービス・タイプを指定します。特定の プロトコルを選択することにより TCP・UDP・ICMP6-PD のポート 番号を選択できます。
⑥プロトコル	フィルタリングの対象となる FTP、HTTP の主要なプロトコル (アプ リケーション) を選択します。リストの中に選択しようとするプロト コルがない場合は「ユーザー定義」を選択し、ポート番号を「開始ポー ト」「終了ポート」で指定します。
⑦開始ポート	サービスが使用するポートの範囲で最小の番号を入力します。
⑧終了ポート	サービスが使用するポートの範囲で最大の番号を入力します。

●ステータス

各種システム情報を表示します。



項目名	内容
①ファームウェア・バージョン	本商品のファームウェアのバージョンが表示されます。
②システム稼働時間	本商品を起動してからの経過時間が表示されます。
③LAN 状態	<ul style="list-style-type: none"> ■ MAC アドレス 本商品の LAN 側の MAC アドレスが表示されます。 ■ IP アドレス 本商品の LAN 側の IP アドレスが表示されます。 ■ サブネットマスク 本商品の LAN 側のサブネットマスクが表示されます。 ■ DHCP DHCP の状態（有効／無効）を表示します。 ■ DHCP 開始アドレス DHCP サーバでリース開始の IP アドレスが表示されます。 ■ DHCP 終了アドレス DHCP サーバでリース終了の IP アドレスが表示されます。 ■ IPv6 アドレス IPv6 使用時に本商品の LAN 側の IPv6 アドレスが表示されます。
④WAN 状態	<ul style="list-style-type: none"> ■ MAC アドレス 本商品の WAN 側の MAC アドレスが表示されます。 ■ WAN1 / WAN2 WAN 側接続がどの種類で接続されているかが表示されます。 ■ IP アドレス 本商品の WAN 側の IP アドレスが表示されます。 ■ サブネットマスク 本商品の WAN 側のサブネットマスクが表示されます。 ■ ゲートウェイ 本商品の WAN 側のゲートウェイアドレスが表示されます。 ■ DNS サーバー 本商品が取得(設定)された DNS アドレスが表示されます。 ※工場出荷時は「0.0.0.0」です。 ■ IPv6 Prefix IPv6 使用時に IPv6 アドレスのプレフィックス値が表示されます。

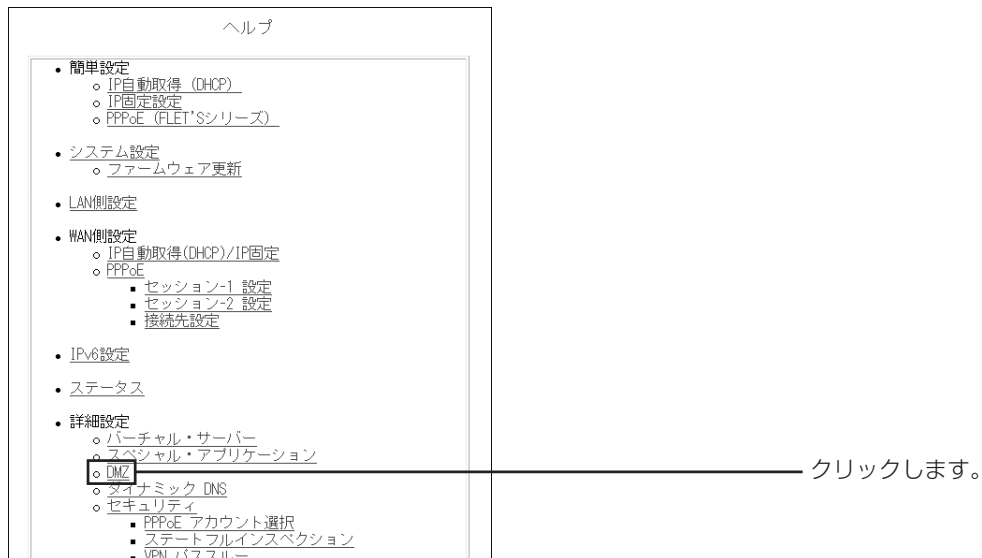
●ヘルプ

本商品の各項目の説明をご覧になることができます。メニューリストの「ヘルプ」か、各画面にある「ヘルプ」をクリックしてください。

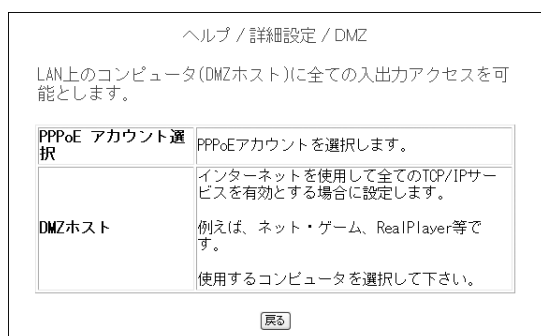
- 1 メニューリスト（画面左）に表示されている「ヘルプ」をクリックします。



- 2 ヘルプ全体の項目が表示されます。表示したい画面の項目をクリックします。



- 3 各画面の説明が表示されます。



●詳細設定

■バーチャル・サーバー

インターネット（WAN 側）から本商品のパソコン（LAN 側）上にアクセスできるようにして、外部にサーバを公開することができます。設定するときは、次の画面の①のプルダウンメニューを「有効」にし、[追加]をクリックして、表示された画面で設定を行ってください。変更した後は「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。



- ・パソコン上でサーバソフトを実行している必要があります。
- ・ダイナミック DNS（DDNS）機能を使用することで、より簡単にインターネット上から LAN 上のサーバに接続することができます。



- ・インターネット上のホストが行った本商品のWAN側IPアドレスとポート番号を指定したアクセスは、バーチャルサーバ機能によって指定された接続先（パソコン）にアクセスします。
- ・同じLAN内で同種類のサーバを立ち上げたいときは、ポート番号が重複しないようにします。

項目名	内容
①バーチャル・サーバー	バーチャル・サーバの有効／無効を選択します。選択を変えたときは「設定」をクリックします。「有効」にするとサーバをインターネット上に公開することができます。
②UPnP 使用ポート情報	現在、UPnP が使用しているポートの一覧を表示します (P.57)。 ※ UPnP は Windows XP で使用できます。
③バーチャル・サーバー	バーチャル・サーバの有効／無効を表示します。「有効」にするとサーバをインターネット上に公開することができます。
④接続先	サーバとなるパソコンを設定します。
⑤プロトコル	バーチャルサーバで使用するプロトコルを設定します。 ・すでに登録されているプロトコルをご使用になるときは、そのプロトコル名を選択してください。 ・追加登録したいプロトコルがある場合は「ユーザー定義」を選択して、⑥、⑦で登録したいプロトコルの使用ポート番号を入力します。
⑥入力開始／終了ポート	インターネット上からLAN上のサーバに接続するための開始～終了のポート番号を設定します。管理者の任意のポート番号を入力します。 例：入力ポート番号を 50～100 に設定する場合 →開始=50、終了=100 ※すでに登録されているプロトコルを選択したときは、自動的にポート番号が入ります。
⑦出力開始／終了ポート	サーバソフトが使用する開始～終了のポート番号を設定します。管理者の任意のポート番号を入力します。 例：出力ポート番号を 150～200 に設定する場合→開始=150、終了=200 ※既に登録されているプロトコルを選択したときは、自動的にポート番号が入ります。
⑧サービス・タイプ	バーチャルサーバの対象となるIPタイプを指定します。特定のプロトコルを選択することによりTCPまたはUDPもしくは両方のポート番号を動作させます。
⑨備考	バーチャルサーバの説明を入力します。



「接続先」(④) でサーバとなるパソコンが表示されない場合、PCデータベースでサーバとなるパソコンを登録する必要があります。登録方法は「PCデータベース」(P.52) をご覧ください。

■スペシャル・アプリケーション

ルータなどによって動作しない一部のインターネット使用アプリケーションを、スペシャル・アプリケーションに登録します。インターネットを使用するアプリケーションが動作しない場合に登録してください。登録の際には、アプリケーションのメーカーから、設定に関する情報を入手する必要がありますので、情報を確認して設定を行ってください。入力ポート番号、出力ポート番号はそれぞれパソコンからの入力、出力を意味しています。本設定を行ってもアプリケーションが動作しない場合は、DMZ機能（次ページ）をお試しください。変更した後は「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。

項目名	内容
①名称	スペシャル・アプリケーションに登録する任意の名称を入力します（半角12文字、全角6文字まで）。
②入力ポート番号	<p>■タイプ スペシャルアプリケーションを使用するときのプロトコル（TCPまたはUDP）を選択してください。 ※アプリケーションによっては入力および出力で異なるプロトコルを使用するものもあります。</p> <p>■開始～終了（アプリケーションメーカーからの情報を確認する） パソコンがデータを受信する際に、アプリケーションサーバによって使用されるポート範囲の始まり（開始）～終わり（終了）の番号を入力します。アプリケーションが1つのポートを使用する場合は、開始および終了に同じ番号を入力してください。 例：50～100に設定するとき…開始=50、終了=100 65に設定するとき…開始=65、終了=65</p>
③出力ポート番号	<p>■タイプ スペシャルアプリケーションを使用するときのプロトコルを選択してください。 ※アプリケーションによっては入力および出力で異なるプロトコルを使用するものもあります。</p> <p>■開始～終了（アプリケーションメーカーからの情報を確認する） パソコンがデータを送信する際に、アプリケーションサーバによって使用されるポート範囲の始まり（開始）～終わり（終了）の番号を入力します。アプリケーションが1つのポートを使用する場合は、開始および終了に同じ番号を入力してください。 例：150～200に設定するとき…開始=150、終了=200 70に設定するとき…開始=70、終了=70</p>

■ DMZ

LAN上のコンピュータ (DMZホスト) に全ての入出力アクセスを可能とします。スペシャルアプリケーション機能を使用できなかったときなどに設定します。変更した後は「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。

詳細設定 / DMZ **HELP**

PPPoE アカウント選択 Account-1(S1) ①

DMZホスト パソコンを選択してください ②

設定 取消 戻る

項目名	内容
① PPPoE アカウント 選択	PPPoE アカウントを選択します。 ※ PPPoE 接続の場合のみ表示されます。
② DMZ ホスト	DMZ機能を使用時に外部からアクセス可能にするコンピュータを指定 します。



- DMZ機能の対象となっているパソコンは、本商品のファイアウォール機能が無効になるため、セキュリティが弱くなります。DMZ機能は必要な場合のみ有効にしてご使用ください。
- 工場出荷時の状態では、DMZ機能は「無効」、LAN側IPアドレスは「192.168.1.0」となっています。DMZ機能を「有効」に変更しても、対象となるパソコンのIPアドレスを指定しないとDMZは有効になりませんのでご注意ください。

■ダイナミック DNS (DDNS)

インターネット側からIPアドレスではなくURL (ドメインネーム) を使用してLAN内のバーチャルサーバなどに接続できます。本機能を使用することによって、ダイナミックIPアドレスのような、IPアドレスが固定されないサービスに対応します。変更した後は「システム設定」 - 「システム・リブート」を実行します。

・ダイナミック DNS の設定

- 1 DDNS サービスに登録手続きをします。登録はDynDNS.org (無料サービス) とIvyNetwork (有料サービス)、「@Net DDNS」(有料サービス/「@NetHome」会員のみの)の3つから選択できます。登録手続きをすると、後からユーザ登録確認メールが送信されてきます。
- 2 登録した際に受け取った情報をもとに、ログイン名、ログインパスワード、ドメイン名を入力して保存します。
- 3 本商品の再起動をします。再起動の方法は「本商品を再起動する」(P.82)をご覧ください。
- 4 本商品はその時点で使用しているIPアドレスを、設定したDDNSサービスに自動的に記録します。設定したダイナミックDNSを使用して、バーチャルサーバなどへの接続が可能になります。

・PPPoE モードの選択時の設定項目

PPPoE モードを選択しているときは、アカウントごとに設定できる項目があります。

項目名	内容
① PPPoE アカウント 選択	PPPoE アカウントを選択します。 ※ PPPoE 接続の場合のみ表示されます。
②ダイナミック DNS	ご利用になる DNS サービスを選択します。
③ログイン名	DNS サービスに登録したログイン名を入力します。
④ログインパスワード	DNS サービスに登録したパスワードを入力します。
⑤ドメイン名	DNSサービスに登録したドメイン名を入力します。必ず取得したドメイン名を使用してください。
⑥ IP チェック時間	取得したドメイン名と IP アドレスの整合性を指定時間で確認します。

■セキュリティ

変更した後は「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。

項目名	内容
① PPPoE アカウント 選択	PPPoE アカウントを選択します。 ※ PPPoE 接続の場合のみ表示されます。
②ステートフル インスペクション	「有効」にするとファイアウォールを通過するパケットのデータを読み取り、内容を判断して動的にポートを開放・閉鎖し、必要なデータのみ受け入れます。
③ VPN パススルー	VPN (仮想的な専用回線) パススルーの「有効」／「無効」を選択します。
④ステルスモード	「無効」を選択すると、インターネット側 (WAN 側) から PING リクエスト (通信確認リクエスト) があった際に応答します。「有効」を選択すると PING に応答しなくなります。 ※ PING に応答することによって、インターネット側から本商品の存在を確認できます。相手によってはお互いの存在を確認しながらインターネット接続を始めるものもありますので、その際には「無効」を選択してください。
⑤ URL フィルタ	指定した文字列が含まれる URL およびキーワードを含んだアクセスを制限することができます。詳細は本ページの「URL フィルタ」をご覧ください。
⑥アクセス制限	インターネット接続できるパソコンや時間を制限することができます。詳細は「アクセス制限」(P.49) をご覧ください。

・URL フィルタ

接続を制限したい URL を登録しておく、その文字列を含む URL がブロックされます。最大 255 件まで登録できます。

項目名	内容
① URL の追加	接続制限したい URL を入力し、[追加] をクリックすると、フィルタリストに URL が追加され、文字列（例：violence）を入力すると、その文字列を含む URL がブロックされます。
② フィルタリスト	現在制限されている URL または文字列が表示されます。1 件削除するときは、削除したい URL または文字列を選択して [削除] をクリックします。全て削除するときは [全て削除] をクリックします。

・アクセス制限

インターネット接続できるパソコンや時間を制限することができます。設定が完了したら [設定] をクリックしてください。

① グループ

アクセス制限をするグループを選択します。グループ0には登録できないのでご注意ください。[メンバー登録] をクリックすると設定画面が表示されます。新しくグループを作成したいときは、「グループ0 (デフォルトグループ)」（画面右側）から「新グループ」（画面左側）に加えたいパソコン（IP）を選択し、[追加] をクリックします。削除したいときは、削除するグループ名を選択して [削除] をクリックします。設定が完了したら [終了] をクリックしてください。

② アクセス制限

アクセス制限の有効/無効が選択できます。

③ スケジュール設定

[スケジュール設定] をクリックすると設定画面が表示されます。設定が完了したら [保存] をクリックしてください。

- ・アクセス制限のスケジュール管理として使用します。
- ・開始時間から終了時間の間、アクセスを制御することができます。
- ・1 日を 2 回にわけてスケジュールを組むことができます。
- ・時間設定は 24 時間表記で入力してください。
※時間が設定されていないときは、スケジュールでの管理は動作しません。
- ・設定が終わったら [保存] をクリックして保存します。

スケジュール設定 HELP

24時間表記で入力してください 1日中 制限をするとき: 00:00 - 24:00
1日中 制限をしないとき: 空欄

曜日	スケジュール1		スケジュール2	
	開始	終了	開始	終了
月曜	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
火曜	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
水曜	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
木曜	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
金曜	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
土曜	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
日曜	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

保存 キャンセル 終了

項目名	内容
曜日	曜日ごとにスケジュールを設定します。
スケジュール 1、2	スケジュール 2 を使用しない場合は、空白で設定してください。
開始	24 時間表記で開始時間を入力してください。
終了	24 時間表記で開始時間を入力してください。

④ 追加

[追加] をクリックすると設定画面が表示されます。設定が完了したら [設定] をクリックしてください。

詳細設定 / セキュリティ / アクセス制限 / 追加 HELP

PPPoEの設定	Account-1	※PPPoE接続の場合のみ表示されます。
グループ	1	
サービス名	<input type="text"/>	①
サービス・タイプ	TCP	②
プロトコル	ユーザー定義	③
開始ポート	<input type="text"/> (0 ~ 65535)	④
終了ポート	<input type="text"/> (0 ~ 65535)	

設定 戻る

項目名	内容
①サービス名	追加登録するとき、任意のサービス名を入力します。
②サービス・タイプ	追加登録するサービスタイプ(TCP / UDP / 両方 / ICMP)を選択します。
③プロトコル	すでに登録されているプロトコルを使用するときは、そのプロトコル名を選択してください。追加登録したいプロトコルがある場合は「ユーザー定義」を選択して、④の「開始ポート/終了ポート」で登録したいプロトコルの使用ポート番号を入力します。
④開始ポート/終了ポート	③の「プロトコル」で「ユーザー定義」を選択している場合は、任意のポート番号を入力します。 ※すでに登録されているプロトコルを選択したときは、自動的にポート番号が入ります。

■ DHCP サーバー

変更したいときに各項目の設定を行います。変更した後は「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。

The screenshot shows the 'DHCPサーバー' configuration window. It includes a 'HELP' button and a '設定' button. The fields are as follows:

- ① DHCPサーバー: 有効 (Active)
- ② リース期限継続方法: 期限指定 (Specify lease duration)
- ③ リース期限: 0 日 6 (0~23)時間 0 (0~59)分
- ④ DHCP開始アドレス: 192.168.1.11
- ⑤ DHCP終了アドレス: 192.168.1.254

項目名	内容
① DHCP サーバー	DHCP機能の有効／無効を選択します。有効にすると自動的にパソコンにIPアドレスを割り振ります。
②リース期限継続方法	DHCPサーバでリースされるIPアドレスのリース期限継続方法を選択します。期限指定／無期限の指定ができます。
③リース期限	DHCPサーバでリースされるIPアドレスのリース期限を指定します。 ※②を期限指定にしている場合に設定できます。
④ DHCP 開始アドレス	DHCP サーバでリース開始のIPアドレスを入力します。 ※工場出荷時は「192.168.1.11」で設定されています。
⑤ DHCP 終了アドレス	DHCP サーバでリース終了のIPアドレスを入力します。 ※工場出荷時は「192.168.1.254」で設定されています。

■ PC データベース

本商品に接続するクライアントパソコンのIPアドレスを登録することができます。変更した後は「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。

詳細設定 / PCデータベース **HELP**

パソコン名 IPアドレス タイプ MACアドレス DHCPクライアント

追加 修正 削除 設定 戻る

再読み込み

クリックします。

PCデータベース(詳細設定) **HELP**

PCリストに新しく追加または変更や削除を行うことができます。もし追加したパソコンが接続されていない場合は、そのパソコンのMACアドレスを登録しておく必要があります。

①

②

③

④

⑤

⑥

項目名	内容
①パソコン名	クライアントパソコンの「ホスト名」を入力します。
②IPアドレス	IPアドレスの取得方法を選択してください。 ■自動取得（DHCPクライアント） パソコンがDHCPクライアント（Windowsでは「IPアドレスを自動的に取得」）に設定している場合、本商品はこのパソコンにIPアドレスを提供します。IPアドレスは通常変わることはありませんが、リース期間に達した場合やネットワークから長時間パソコンから取り外された状態で再接続した際に変わることがあります。 ■固定取得（DHCPクライアント） パソコンがDHCPクライアント（Windowsでは「IPアドレスを自動的に取得」）に設定している場合、毎回決まったIPアドレスを取得したいときに選択します。最後の空欄に1～254までの任意の数字を入力してください。 ■固定設定（DHCP範囲以外） パソコンが固定IPアドレスを使用している場合は、これを選択してください。

項目名	内容
③ MAC アドレス	適切なオプションを選択してください。 ■自動検索 本商品がパソコンと通信し、そのパソコンのMACアドレスを自動取得するようにします。パソコンがLANに接続されている状態でお使いください。 ■MACアドレスは 直接パソコンのMACアドレスを入力してください。MACアドレスは「ハードウェアアドレス」「物理アドレス」または「ネットワークアダプタアドレス」と呼ばれることがあります。本商品は各パソコンを個別に認識するためにこれを使用しますので、MACアドレスは空白にしたままでの使用はできません。
④ [PC データ追加]	パソコンデータを使用して本商品のリストに新しいパソコンを加えることができます。MACアドレス「自動検索」が選択されている場合、パソコンに「Ping」を送り、そのMACアドレスを登録します。
⑤ [データの削除]	画面上で入力した値をクリアすることができます。
⑥ [戻る]	標準「PC データベース」(P.52) に戻るときにクリックします。

■ログ表示

・アクセスログ

アクセス制限機能 (P.49) を使用してブロックされた情報をログに保存します。

・DoS アタック ログ

DoS アタック*が発生した際に、そのログを保存します。

※DoSアタック

インターネットにつながっているパソコンやルータなどに大量の不正なデータを送り、使用不能にさせる不正アクセスの1つです。

・インターネット接続ログ

インターネット接続に関するログを保存します。

■ルーティング

「PART4 こんなときにはこの設定」の「スタティックルートの設定」(P.67)に記載されている使用例をご覧ください。変更した後は「システム設定」－「システム・リポート」を実行します。

・スタティック

項目名	内容
①ネットワーク・アドレス	対象となるネットワークのIPアドレス（ネットワークアドレス）を入力します。
②サブネットマスク	対象となるネットワークのサブネットマスクを入力します。
③ゲートウェイ*	対象となるネットワークにパケットを送るためのゲートウェイもしくは本商品のIPアドレスを入力します。
④インターフェイス	パケットを送るためのインタフェースを指定します。LAN（LAN側）もしくはWAN（WAN側）を指定します。

※ゲートウェイ

異なるプロトコルを相互接続するために変換させるハードウェアやソフトウェアのことです。

・ダイナミック (RIP)

ダイナミック (RIP) は、ルータ間でルーティング情報をやり取りすることで、パケット転送のルートを決めます。

項目名	内容
①RIP バージョン*	使用するRIPのバージョンを選択してください。本商品はRIPv1、RIPv2をサポートしていますので、お使いの環境に合わせて設定してください。
②RIP 送信	RIPを送信する場合は「有効」に設定します。
③RIP 受信	RIPを受信する場合は「有効」に設定します。

※RIP(リップ/Routing Information Protocol)

ルータ間で使用されるプロトコルの一つで、ルーティング情報の交換などに使用されます。

・レポート

ルーティングの現在の状態を表示します。[更新] をクリックすると、最新の情報を表示します。

詳細設定 / ルーティング / レポート					
接続先	サブネットマスク	ゲートウェイ	メトリック	インターフェイス	タイプ
192.168.1.0	255.255.255.0	0.0.0.0	1	LAN	LOCAL

[更新]

■その他各種設定

変更した後は「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。

・バックアップ DNS

通常のインターネット接続などの場合には使用しません。

詳細設定 / その他各種設定 / バックアップDNS		HELP
バックアップDNS	無効	①
DNSサーバー1	<input type="text"/>	②
DNSサーバー2	<input type="text"/>	

[設定] [取消] [戻る]

項目名	内容
①バックアップ DNS	バックアップ DNS の機能を使用するときに「有効」に設定します。
②DNS サーバー 1 / DNS サーバー 2	①で「有効」に設定したとき、入力することができます。バックアップ用の DNS サーバのアドレスを入力します。

・E-mail

DoS アタックなどの不正アクセスがあった場合に、ここで登録した E-mail アドレスに、本商品から自動的にメールを送信してお知らせすることができます。

The screenshot shows the 'E-Mail 設定' (E-Mail Settings) page. At the top, there is a breadcrumb '詳細設定 / その他各種設定 / E-Mail' and a 'HELP' button. The main form contains the following elements:

- ①: A dropdown menu for 'E-Mail 設定' currently set to '無効' (Inactive).
- ②: A text input field for 'SMTPサーバー名' (SMTP Server Name).
- ③: A text input field for 'メールアドレス' (Email Address).
- ④: A text input field for 'Subject'.
- ⑤: A text input field for 'ユーザー名' (Username).
- ⑥: A text input field for 'パスワード' (Password).
- ⑦: A checkbox labeled 'すぐにアラートを送信する' (Send alert immediately).
- ⑧: A section for 'ログメール送信スケジュール' (Log mail sending schedule), which includes a dropdown for 'ログがフルであるとき' (When log is full), a '日曜日' (Sunday) dropdown, and a time selection (12:00, 午前, 午後).

At the bottom of the form are three buttons: '設定' (Settings), '取消' (Cancel), and '戻る' (Back).

項目名	内容
① E-Mail 設定	E-Mail送信を有効／無効に設定します。有効にするとログ情報を③で入力したメールアドレスに送信します。
② SMTP サーバー名	本商品が使用するメールアドレスのSMTP（送信用）サーバの名称を入力します。
③メールアドレス	ログ情報の送り先にしたいメールアドレスを設定します。
④ Subject	ログ情報を送るメールの件名を設定します。
⑤ユーザー名	本商品が使用するメールアドレスのユーザー名を入力します。
⑥パスワード	本商品が使用するメールアドレスのパスワードを入力します。
⑦すぐにアラートを 送信する	チェックを付けるとDoSアタックがあった際に、随時ログ情報を③で指定したアドレスに送信します。
⑧ログメール送信 スケジュール	ログ情報をメール送信するスケジュールを設定します。⑦にチェックが入っていないときは、指定された時間ごとに③で指定したアドレスにログ情報を送信します。

・リモート

インターネット（WAN側）から本商品の設定をしたいときに、この項目の設定を行います。

項目名	内容
①リモート設定	リモート設定を有効／無効に設定します。有効にするとインターネット側（WAN側）から本商品の設定を可能にします。
②ポート	1～9600の範囲でポート番号を入力してください。 ※工場出荷時は8080です。 インターネット側からの接続の際、下記のようにIPアドレスの後ろに「:ポート番号」を指定してください。 例：http://WAN側IPアドレス:ポート番号

■ UPnP

UPnP機能を使用するとき、この項目の設定を行います。

※ PPPoE 接続の場合の画面例です。

項目名	内容
① UPnP 使用ポート	クリックすると UPnP で使用しているポートを確認できます。
② UPnP を使用する	UPnP の有効／無効を選択します。 ※ UPnP 機能は Windows XP でご使用になれます。
③ アプリケーションで WAN IP を選択する	UPnP 対応アプリケーションで WAN IP を選択する場合に使用します。
④ WAN 側 IP のセッションを選択する	手動で UPnP を使用する WANIP（セッション）を選択する場合に使用します。
⑤ WAN の切断機能を有効にする	WAN の切断機能の有効／無効を選択します。有効にすると UPnP 機能を使用して WAN（インターネット側）を切断することができます。

・ UPnP 使用ポート

UPnP で使用しているポートを確認できます。

PART 4

こんなときにはこの設定

ネットワークゲームや音声／ビデオチャットなど、ネットワーク上から各パソコンに直接アクセスする必要がある場合は、本商品の設定を変更する必要があります。このPARTでは、本商品をより便利に活用していただくための設定方法について説明します。

ネットワークゲームをするには

ネットワークゲームをするには、ゲームサーバとデータの送受信を行うポートを利用可能にするために、UPnP 設定やスペシャルアプリケーション 設定などを本商品に設定する必要があります。



お使いの回線やプロバイダ (ISP) によっては、ネットワークゲームに対応していない場合がありますので、ご注意ください。

●UPnPに対応したネットワークゲームの場合

本商品はUPnPに対応しているので、UPnPに対応したネットワークゲームであれば、自動的に本商品の設定が行われます。設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 設定をするアカウントを選択し、「その他各種設定」－「UPnP」(P.57) で、「UPnPを使用する」を「有効」にします。



- ・Windowsにて、ユニバーサル プラグ アンド プレイ (UPnP) に関するセキュリティの脆弱性が発見されています。ご利用になる前に、Windowsの修正プログラムをインストールしてください。詳細な設定方法は、Microsoftにお問い合わせください。
- ・UPnP機能は、Windows XPでご使用になれます。

●UPnPに対応していないネットワークゲームの場合

UPnPに対応していないネットワークゲームの場合は、次のいずれかの方法で設定します。

■ネットワークゲームが使用するポート番号が分かる場合

使用するポート番号、タイプが分かっている場合は、設定ユーティリティで次の設定を行います。

「詳細設定」－「スペシャル・アプリケーション」(P.45)で、ネットワークゲーム会社より指定されている使用ポート番号とタイプ(プロトコルのタイプ)を設定します。



ネットワークゲームが使用するポート番号、タイプ(プロトコルのタイプ)については、各ネットワークゲームメーカーにお問い合わせください。

■ネットワークゲームが使用するポート番号が分からない、または毎回変更される場合

DMZ機能を使います。設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 「詳細設定」－「DMZ」(P.46)をクリックします。
- 2 フレッツ・ADSL／Bフレッツ、eo、TEPCOひかり、アッカ・ネットワークス、OCNなどPPPoEで接続されている場合は、「PPPoEアカウント選択」でアカウントを選択します(PPPoE接続以外の場合はこの手順は必要ありません)。
- 3 「DMZホスト」でパソコンを選択します。

〈PPPoE設定をしている場合(フレッツ・ADSL、Bフレッツ、eo、TEPCOひかり、アッカ・ネットワークス、OCNなど)の画面〉

①アカウントを選択します(PPPoE接続のときのみ表示されます)。

②ホストとなるパソコンを選択します。

〈PPPoE設定をしていない場合(Yahoo! BB、CATVなど)の画面〉

ホストとなるパソコンを選択します。



DMZ機能の対象となっているパソコンは、本商品のファイアウォール機能が無効になるため、セキュリティが弱くなります。DMZ機能は、必要な場合のみ有効にしてご使用ください。

音声／ビデオチャットなどのツールを使うには

ここでは、代表的なソフトとして、NetMeeting、MSN Messengerを利用する場合の設定を説明しています。本商品は、NetMeeting、MSN Messenger (Ver.6.2以降) に対応しています。ご使用方法は、各ソフトウェアのヘルプやホームページをご覧ください。

●NetMeeting

ここでは、DMZ 機能を使います。「詳細設定」－「DMZ」(P.46) で NetMeeting を使用するパソコンを選択してください。



DMZ 機能の対象となっているパソコンは、本商品のファイアウォール機能が無効になるため、セキュリティが弱くなります。DMZ 機能は、必要な場合のみ有効にしてご使用ください。

●MSN Messenger(Ver.6.2以降)

本商品は UPnP に対応しているので、MSN Messenger を利用する際は、自動的に本商品の設定が行われます。

- 1 設定ユーティリティの「その他各種設定」－「UPnP」(P.57) をクリックして、画面を開きます。
- 2 「UPnP を使用する」を「有効」にします。



- ・ MSN Messenger は Ver. 6.2 で動作確認しております。
- ・ 対応 OS は Windows XP Service Pack1 (SP1) 以降のみです。

- 3 「使用ポート」をクリックして、ポートの状態を確認します。

外部にサーバを公開するには

●バーチャル・サーバを使用する

バーチャル・サーバ機能を利用して外部にサーバを公開する設定例です。

- 1 「[詳細設定]」－「バーチャルサーバー」をクリックします。
- 2 「バーチャル・サーバー」の「有効」を選択します。
- 3 「[追加]」をクリックして、接続先のパソコンを選択し、「プロトコル」と「サービスタイプ」を設定します。



「入力ポート番号」および「出力ポート番号」は、「プロトコル」で「ユーザ定義」を選択した場合に、任意の数値を入力します。

詳しくは、「PART3 設定ユーティリティをしてみよう」の「バーチャル・サーバー」(P.43) をご覧ください。

●ダイナミックDNSを使用してURLでアクセスする

インターネット側からドメインネーム (URL) を使用して、バーチャル・サーバなどに接続することができる設定例です。

- 1 本商品がインターネットに接続しているときに、「ダイナミックDNS」画面にある「DynDNS.org」(無料サービス) または「IvyNetWork」(有料サービス) を選択して設定を行います。そのときの「ログイン名」、「ログインパスワード」、「ドメイン名」は控えておいてください。
- 2 本商品の「ダイナミックDNS」画面に戻り、手順1で設定した「ログイン名」、「ログインパスワード」および「ドメイン名」を入力し、「[設定]」をクリックします。

詳しくは「PART3 設定ユーティリティをしてみよう」の「ダイナミックDNS」(P.47) をご覧ください。



「@ Net DDNS」(有料サービス/「@ NetHome」会員のみ) をお使いいただく際は、加入者サポートページより、家庭内ネットワーク内のダイナミックDNS (ホームモニタリング) からお申し込みください。

マルチPPPoEで2つの接続先を使い分けるには

(プロバイダと、フレッツ・スクウェア／フレッツ・コネクト／フレッツ・コミュニケーションを利用する)

●プロバイダとフレッツ・スクウェアに接続する

通常はプロバイダに接続しますが、「flets」のドメイン名が含まれたURLが入力されたときに「フレッツ・スクウェア」に自動的に接続させることができます。「フレッツ・スクウェア」を利用するには、「セッション2」に設定を行うことで利用可能になります。

例：通常のプロバイダへの接続設定を「セッション-1のAccount-1」に、「フレッツ・スクウェア」への接続設定を「セッション-2のAccount-2」に設定する場合

- 1 通常のプロバイダの設定を行います。メニューから「WAN 側設定」をクリックし、「PPPoE」－「PPPoE 設定」の順にクリックします。
- 2 「セッション選択」は「セッション-1」を選択し、「アカウント選択」は任意のアカウントを選択します（例として「Account-1」を選択します）。
- 3 通常のプロバイダから通知された内容（「ユーザ名」、「パスワード」）を入力し、「PPPoE サービス・タイプ」は「PPPoE」を選択します。
- 4 「設定」をクリックします。
- 5 次にフレッツ・スクウェアの設定を行います。「PPPoE 設定」画面で「セッション-2」を選択し、「アカウント選択」は任意のアカウントを選択します（例として「Account-2」を選択します）。
- 6 「ユーザ名」と「パスワード」は、それぞれ下記の表の内容で入力します。「DNS サーバ」は「自動設定」を選択します。

	NTT 東日本のエリアのお客様	NTT 西日本のエリアのお客様
ユーザ名	guest@flets	flets@flets
パスワード	guest	flets

(2006年7月現在)

- 7 「DNS サーバ」は「自動設定」をクリックします。
- 8 「設定」をクリックします。
- 9 画面上側にある「PPPoE」のラジオボタンをクリックし、「PPPoE」画面が表示されたら「接続先設定」をクリックします。
- 10 「追加」をクリックして追加画面を表示させます。
- 11 「接続アカウント」を「Account-2 (S2)」を選択します（「(S2)」はセッション2を示します）。
- 12 「ルール選択」で「ドメイン名」を選択し、「.flets/」と入力します。
- 13 「設定」をクリックします。
- 14 「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。

詳しくは、「PART3 設定ユーティリティを見よう」の「PPPoE」(P.35)をご覧ください。

●フレッツ・コネクト(NTT東日本)を利用する

フレッツ・コネクトは、Bフレッツ、フレッツ・ADSLをご利用のお客さま同士による、IP電話機能などの音声・映像・データによる多彩な通信サービスを提供します。簡単な番号(コネクトID)により相手先のIPアドレスを意識することなく接続できます。フレッツ・コネクトを利用するには、「セッション2」に設定を行うことで利用可能になります。

例：通常のプロバイダへの接続設定を「セッション1のAccount-1」に、「フレッツ・コネクト」への接続設定を「セッション-2のAccount-2」に設定する。

- 1 P.61の手順1～3をご覧になり、通常のプロバイダへの接続設定を行います。
- 2 次にフレッツ・コネクトの設定を行います。「PPPoE設定」画面の「セッション選択」で「セッション-2」を選択し、「アカウント選択」は任意のアカウントを選択します。例として「Account-2」を選択します。
- 3 フレッツ・コネクトで使用する「ユーザ名」、「パスワード」をそれぞれ入力します。
- 4 「DNSサーバ」は「自動設定」を選択します。[設定]をクリックし、[戻る]をクリックします。
- 5 「接続先設定」をクリックして、フレッツ・コネクトの追加設定をします。

- ① [追加]をクリックして追加画面を表示させます。「アカウント選択」は「Account-2 (S2)」、「ルール選択」を「ネットワーク」にして、「172.0.0.0/8」を入力し、[設定]をクリックします。接続先設定画面に戻ります。
- ② [追加]をクリックして追加画面を表示させます。「アカウント選択」は「Account-2 (S2)」、「ルール選択」を「ドメイン名」にして、「.connect」を入力して [設定] をクリックします。



①～②の「アカウント選択」は必ず同一のアカウントにしてください。

- 6 「接続先設定」画面に「172.0.0.0/8」「.connect」が登録されていることを確認して [戻る] をクリックし、PPPoEの設定画面に戻ります。
- 7 [戻る] をクリックします。
- 8 「その他各種設定」をクリックします。
- 9 「UPnP」をクリックして、「UPnPを使用する」は「有効」を選択し、「WAN側IPのセッションを選択する」－「セッション2」の順に選択して [設定] をクリックします。
- 10 「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。

以上で、フレッツ・コネクトを利用するための本商品の設定は終わりです。ネットワークコミュニケーションソフトを起動して、フレッツ・コネクトをご利用ください。



- ・ダイレクト PPPoE 接続でフレッツ・コネクトを使用する場合は、「フレッツ・コネクト」セットアップガイドをご覧ください。
- ・フレッツ・コネクトをセッション1に設定した場合は、Windows Messenger や MSN Messenger などのメッセンジャーソフトはご利用できません。
- ・ダイレクト PPPoE 接続でフレッツ・コネクトを利用する場合、「UPnP」(P.57) を「無効」にする必要があります。
- ・UPnPを使用するセッションをフレッツ・コネクトで接続するため、Windows Messenger や MSN Messenger などのメッセンジャーソフトはご利用できません。

●フレッツ・コミュニケーション(NTT西日本)を利用する

フレッツ・コミュニケーションは、B フレッツ、フレッツ・ADSL をご利用のお客さま同士による、IP 電話機能などの音声・映像・データによる多彩な通信サービスを提供します。簡単な番号(コネクトID)により相手先のIPアドレスを意識することなく接続できます。「フレッツ・コミュニケーション」を利用するには、「セッション2」に設定を行うことで利用可能になります。

例：通常のプロバイダへの接続設定を「セッション1のAccount-1」に、「フレッツ・コミュニケーション」への接続設定を「セッション-2のAccount-2」に設定する。

- 1 P.61 の手順 1～3 をご覧になり、通常のプロバイダへの接続設定を行います。
- 2 次にフレッツ・コミュニケーションの設定を行います。「PPPoE 設定」画面の「セッション選択」で「セッション-2」を選択し、フレッツ・コミュニケーションで使用する「ユーザ名」、「パスワード」をそれぞれ入力します。
- 3 「DNS サーバ」は「自動設定」を選択します。
- 4 「設定」をクリックして設定内容を保存し、「戻る」をクリックします。
- 5 「接続先設定」－「追加」をクリックして「接続先設定」画面を表示させます。
- 6 「接続先設定」をクリックして、フレッツ・コミュニケーションの追加設定をします。
 - ① 「追加」をクリックして追加画面を表示させます。「アカウント選択」は「Account-2 (S2)」、「ルール選択」を「ネットワーク」にして、「219.111.224.0/20」を入力し、「設定」をクリックします。接続先設定画面に戻ります。
 - ② 「追加」をクリックして追加画面を表示させます。「アカウント選択」は「Account-2 (S2)」、「ルール選択」を「ドメイン名」にして、「.flets-c.jp」を入力し、「設定」をクリックします。



①と②の「アカウント選択」は必ず同一のアカウントにしてください。

- 7 「接続先設定」画面に「219.111.224.0/20」「.flets-c.jp」が登録されていることを確認して「戻る」をクリックし、PPPoE の設定画面に戻ります。
- 8 「戻る」をクリックします。
- 9 「その他各種設定」をクリックします。

10 「UPnP」をクリックして、「UPnPを使用する」は「有効」を選択し、「WAN側IPのセッションを選択する」－「セッション2」の順に選択して「設定」をクリックします。

11 「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。

以上で、フレッツ・コミュニケーションを利用するための本商品の設定は終わりです。ネットワークコミュニケーションソフトを起動して、フレッツ・コミュニケーションをご利用ください。



UPnPを使用するセッションをフレッツ・コミュニケーションで接続するため、Windows Messenger や MSN Messenger などのメッセンジャーソフトはご利用できません。

●複数固定IPサービスを利用するには(Unnumbered利用)

各プロバイダが提供する複数固定IPアドレスサービスを利用することにより、プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定IPアドレスを本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、サーバ公開などが可能になります。

例：本商品の元の設定…IP アドレスが「192.168.1.1」サブネットマスクが「255.255.255.0」

項目名	プロバイダからの情報
IP アドレス	XXX.〇〇〇.□□□.113～XXX.〇〇〇.□□□.120
サブネットマスク	255.255.255.◆◆◆
DNS サーバ	12.34.56.12

設定するパソコンのIPアドレスを「XXX.〇〇〇.□□□.115」と設定したい場合

- 1 「WAN側設定」－「PPPoE」画面を表示させて、任意のアカウントを選択して、「接続ユーザー名」、「接続パスワード」を入力します。
- 2 その他を以下のように設定します。
 - ・ PPPoE サービス・タイプ → 「Unnumbered IP」 にします。
 - ・ ルータIP → 「XXX.〇〇〇.□□□.113」と入力します（プロバイダから割り当てられた最初のIPアドレスが入ります）。
 - ・ サブネットマスク → 「255.255.255.◆◆◆」と入力します。
 - ・ DNS サーバ → 「12.34.56.12」と入力します。
- 3 「設定」をクリックします。
- 4 「システム設定」－「システム・リブート」の「実行」をクリックします。
- 5 設定するパソコンの固定IPアドレスを以下のように変更します。
 - ・ IPアドレス → 「XXX.〇〇〇.□□□.115」（設定したいIPアドレス）
 - ・ サブネットマスク → 「255.255.255.◆◆◆」
 - ・ デフォルトゲートウェイ → 「XXX.〇〇〇.□□□.113」（ルータIPと同じで可）



TCP/IP の変更方法については、本書の「PART2 ネットワークに接続しよう」の「パソコンのネットワークを設定しよう」(P.7～)をご覧ください。

- 6 本商品の設定画面を再度アクセスする場合は、Webブラウザのアドレス欄に入力するIPアドレスを「WAN側設定」で設定した「XXX.〇〇〇.□□□.113」と入力します。

詳しくは、「PART3 設定ユーティリティをしてみよう」の「PPPoE」(P.35)をご覧ください。



Unnumbered を利用する場合は、「LAN側設定」(P.33) でLAN (パソコン側) に固定IPアドレスを設定する必要があります。

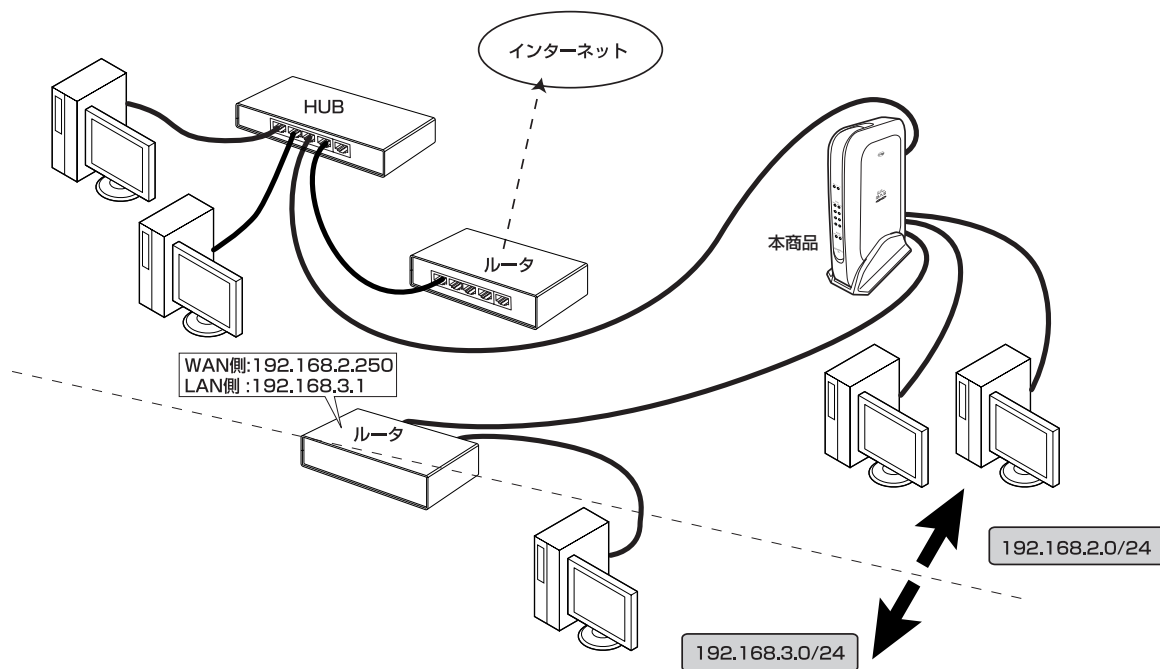
その他のルーティング設定例

ここでは本商品の下位にルータを追加する場合を説明します。

● スタティックルートの設定

隣接するルータが RIP に対応していない場合は、手動で通信経路を指定します。

例：「ネットワーク・アドレス：192.168.3.0、サブネットマスク：255.255.255.0」というネットワークを追加する。



※接続例のサブネットマスクは、すべて「255.255.255.0」です。

※ 192.168.3 で始まる IP アドレスへの通信はすべて 192.168.2.250 に転送

- 1 設定画面から「詳細設定」－「ルーティング」－「スタティック」をクリックし、[追加] をクリックして次の設定を行います。

詳細設定 / スタティック・ルーティング・テーブル / 追加 HELP

ネットワーク・アドレス		①
サブネットマスク		②
ゲートウェイ		③
インターフェイス	LAN	④

設定 戻る

① 「ネットワーク・アドレス」には、通信の宛先となるネットワークアドレスを入力してください。
(例：192.168.3.0)

② 「サブネットマスク」は、ネットワークアドレスのサブネットマスクを入力します。
(例：255.255.255.0)

③ 「ゲートウェイ」は、経路となるルータのIPアドレスを入力してください。
(例：192.168.2.250)

④ 「インターフェース」は、ゲートウェイ欄で指定したルータが、LAN側とWAN側のどちらに存在しているのかを選択してください。
(例：LANを選択)

2 「設定」をクリックし、ルーティング画面で設定を追加します。

3 「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。

● RIPの設定

LAN側に別途ルータが存在する場合は、そのルーティング経路を本商品に設定する必要があります。本商品はダイナミックルーティングプロトコルであるRIP機能に対応していて、隣接するルータとRIPによって、自動的に経路の情報を交換できます。



隣接するルータがRIPに対応していないときは、手動でルート設定をする必要があります。設定方法については「スタティックルートの設定」(P.67)をご覧ください。

1 設定画面から「詳細設定」－「ルーティング」－「ダイナミック (RIP)」をクリックし、次の設定を行います。

- ・RIPバージョンは、RIP機能を使用するかどうか、使用する場合はバージョン(v)1か2を選択します。隣接するルータにも同様にバージョンを選択します。
- ・RIP送信／受信は、RIPを送信するか、受信するかを選択します。

2 「設定」をクリックします。

3 「システム設定」－「システム・リブート」を実行します。

アッカ・ネットワークス、OCNを利用するには

- 1 「本商品の設定をしよう」「簡単な接続方法」(P.21～) をご覧の上、PPPoEの設定を行ってください。フレッツ・スクウェアは「利用しない」を選択してください。
- 2 IPv6のサービスを利用している場合は、「IPv6のサービスを利用するには」(次ページ) をご覧ください。

IPv6のサービスを利用するには

IPv6 トンネル、IPv6 / IPv4 デュアルスタック、フレッツ・ドットネット（NTT 東日本）、フレッツ・v6 アプリ（NTT 西日本）などのサービスをご利用の場合は、本商品の「IPv6 モード」の設定が必要です。

●設定の準備

- 1 お使いのモデムがルータ機能付きのADSL モデムの場合は、取扱説明書をご覧の上、ルータ機能をOFF にします。



ADSLモデムの操作についてのご質問は、プロバイダへお問い合わせください。弊社ではご対応しかねます。

- 2 付属の「クイック設定ガイド」をご覧の上、「PPPoE 接続」の設定をします。インターネットができることをあらかじめ確認しておいてください。

●IPv6-トンネルを使用する

OCN が提供している OCN IPv6 などの IPv6 トンネルサービスをお使いの場合は、次の手順で設定を行ってください。

- 1 メニューから「IPv6 設定」をクリックします。
- 2 「IPv6 モード」で「トンネル」を選択し、「接続サービス」でサービス内容を選択します。
- 3 「アカウント」、「パスワード」、「接続サーバ名」をそれぞれ入力し、「設定」をクリックします。

The screenshot shows the 'IPv6 設定' (IPv6 Settings) screen. It includes a 'HELP' button at the top right. The 'IPv6 モード' (IPv6 Mode) is set to 'トンネル' (Tunnel). Under 'IPv6 プレフィックス設定' (IPv6 Prefix Setting), '手動入力' (Manual Input) is selected, and the prefix is '3ffe-0501:ffff:0100' with a length of '64'. The 'RA機能' (RA Function) is set to '無効' (Disabled). In the 'トンネル設定' (Tunnel Setting) section, '接続サービス' (Connection Service) is set to 'Feel6', 'アカウント' (Account) is 'XXXXXXXXXXXX', 'パスワード' (Password) is masked with dots, and '接続サーバ名' (Connection Server Name) is 'XXXXXXXXXXXX'. The 'PPPキーアランプ' (PPP Key Alarm) is set to '180'. At the bottom, there is a 'トンネル ステータス' (Tunnel Status) button and an 'IPv6 アクセス制限' (IPv6 Access Limit) section. At the very bottom are '設定' (Settings), '取消' (Cancel), and '戻る' (Back) buttons. Numbered callouts 1 through 6 point to: 1. 'トンネル' dropdown, 2. '接続サービス' dropdown, 3. 'アカウント' text box, 4. 'パスワード' text box, 5. '接続サーバ名' text box, and 6. '設定' button.



- ・「アカウント」、「パスワード」、「接続サーバ名」は、ご利用のプロバイダから通知されている IPv6 サービスの接続情報をご確認ください。
- ・Feel6 は PPPoE 接続時のみ使用できます。

- 4 メニューから「IPv6 設定」をクリックします。
- 5 「トンネル ステータス」をクリックし、「接続状態」が「接続」となっていることを確認します。
- 6 設定が完了しました。



- ・ OCN IPv6 サービスについては以下のサイトをご覧ください。(2006年7月現在)
OCN IPv6 <http://www.ocn.ne.jp/ipv6/>
- ・ OCN IPv6 では、「アカウント」、「パスワード」、「接続サーバ名」を次のように入力します。
アカウント：OCN 接続サービスの認証 ID
パスワード：OCN 接続サービスの認証パスワード
接続サーバ名：固定（非固定）プレフィックス用接続サーバ名

●IPv6-ブリッジを使用する

フレッツ・ドットネット（NTT 東日本）、フレッツ・v6 アプリ（NTT 西日本）を利用したサービス（OCN Theater、4th MEDIA など）をお使いの場合は、IPv6 ブリッジを利用します。次の手順で設定を行ってください。

- 1 メニューから「IPv6 設定」をクリックします。
- 2 「IPv6 モード」で「ブリッジ」を選択し、「設定」をクリックします。

IPv6設定 **HELP**

IPv6 モード: **ブリッジ**

IPv6 プレフィックス設定: 手動入力
(プレフィックス長64bit以下)
2001:db8:1111:2222 / 64
 DHCPv6-PD機能を使って自動取得する

RA機能:

トンネル設定: 接続サービス: OCN(L2TP)
アカウント: パスワード:
接続サーバ名:
PPPキーアライブ: 30秒

IPv6 アクセス制限

①「ブリッジ」を選択します。

②「設定」をクリックします。

- 3 設定が完了しました。



フレッツ・ドットネット（NTT 東日本）、フレッツ・v6 アプリ（NTT 西日本）を利用したサービスについては以下のサイトをご覧ください（2006年7月現在）。

NTT 東日本 <http://flets.com/dotnet/>
NTT 西日本 <http://flets-w.com/v6ap/>

●IPv6-デュアルスタックを使用する

アッカ・ネットワークス、OCNが提供しているIPv6 / IPv4 デュアルスタックをお使いの場合は、次の手順で設定を行ってください。

- 1 メニューから「IPv6 設定」をクリックします。
- 2 「IPv6 モード」で「デュアルスタック」、「RA 機能」で「有効」を選択し、「設定」をクリックします。

The screenshot shows the 'IPv6設定' (IPv6 Settings) page. It has a 'HELP' button at the top right. The page is divided into several sections: 'IPv6 モード' (IPv6 Mode) with a dropdown menu set to 'デュアルスタック' (Dual Stack); 'IPv6 プレフィックス設定' (IPv6 Prefix Settings) with radio buttons for '手動入力' (Manual Input) and 'DHCPv6-PD機能を使って自動取得する' (Automatic acquisition using DHCPv6-PD), and a text input for the prefix '2001:db8:1111:2222' and a dropdown for '64'; 'RA機能' (RA Function) with a dropdown menu set to '有効' (Enabled); 'トンネル設定' (Tunnel Settings) with fields for '接続サービス' (Connection Service) set to 'OCN(L2TP)', 'アカウント' (Account), 'パスワード' (Password), '接続サーバ名' (Connection Server Name), and 'PPPキープアライブ' (PPP Keepalive) set to '30秒' (30 seconds); and 'IPv6 アクセス制限' (IPv6 Access Restriction) at the bottom. At the very bottom are buttons for '設定' (Settings), '取消' (Cancel), and '戻る' (Back). Three lines with circular markers point to the 'デュアルスタック' dropdown, the '有効' dropdown, and the '設定' button, with corresponding numbered instructions.

①「デュアルスタック」を選択します。

②「有効」を選択します。

③「設定」をクリックします。

- 3 メニューから「ステータス」をクリックし、「IPv6 Prefix」の情報が取得されていることを確認します。

お使いの環境によって「IPv6 Prefix」の表示に時間がかかります。

- 4 設定が完了しました。

PART 5

トラブルや疑問があったら

本商品を使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、このPARTで解決方法を探してください。

解決のステップ

1. 取扱説明書や契約書を確認する／管理者を確認する



それでも解決しないときは…

2. このPARTのQ&Aを確認する

【トラブルは？】

- インターネットに接続できない
 - ①プロバイダとの契約や回線工事は完了していますか？
 - ②電源は入っていますか？
 - ③モデム⇄インターネット側への回線は正しく接続されていますか？
 - ④ケーブル（モデム⇄本商品⇄パソコン）は正しく接続されていますか？
 - ⑤その他の接続は大丈夫ですか？
 - ⑥パソコンのネットワークアダプタは正しく動作していますか？
 - ⑦パソコンのネットワーク設定は正しく行われていますか？
 - ⑧プロバイダからの入力事項を正しく設定しましたか？
 - ⑨Webブラウザの設定は正しいですか？

- パソコン同士が繋がらない
 - ・ファイルやプリンタが利用できるようにネットワーク設定をしましたか？

- 本商品の設定ユーティリティが起動しない
- 本商品の設定ユーティリティにログインできない
- ファームウェアのアップデートに失敗した

【疑問は？】

- パソコンのIPアドレスを調べたい
- 本商品のパスワードを変更したい
- 最新のファームウェアを入手してアップデートしたい
- 本商品の設定のバックアップを取る／元に戻す
- 本商品を再起動する
- 本商品を工場出荷時の状態にもどす



それでも解決しないときは…

3. コレガのホームページの情報を活用する



それでも解決しないときは…

4. それでも解決しなければ、サポート窓口にお問い合わせしてみる

取扱説明書や契約書を再確認する／管理者に確認する

本書以外にもプロバイダ契約時の設定ガイドや取扱説明書、モデムの取扱説明書、パソコンに付属の取扱説明書をお手元にご用意ください。ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本商品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、外部の装置の問題で正しくつながらないこともあります。このPARTの「インターネットに接続できない」の項目をすべて確認してもつながらない場合は、プロバイダ、パソコンのメーカーなどに問い合わせしてみてください。なお、企業でお使いの方はネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。接続できない場合はネットワーク管理部門や部内のネットワーク管理者などに確認してください。

Q&A

●インターネットに接続できない

以下の項目を順番に確認し、にチェックを付けてください。

①プロバイダとの契約や回線工事は完了していますか？

B フレッツまたはフレッツ・ADSL + 対応プロバイダなどの場合

- 回線適合調査でサービス可能と認定され、工事は完了したか
- B フレッツまたはフレッツ・ADSL に対応したプロバイダの工事は完了したか

②電源は入っていますか？

各接続機器の電源LEDがついているか、またはACアダプタなどが外れていないかを確認してください。

- ADSL モデムまたは回線終端装置などに電源が入っているか（AC アダプタが外れていないか）
- 本商品に電源が入っているか（AC アダプタが外れていないか）

③モデム⇄インターネット側への回線は正しく接続されていますか？

- モデム（ADSL モデム、回線終端装置）とケーブル（電話回線用モジュラケーブル、同軸ケーブル、光ケーブル）が正しく接続されているか
- 詳しい接続については、モデムや回線終端装置に付属の取扱説明書をお読みください。

④ケーブル（モデム⇄本商品⇄パソコン）は正しく接続されていますか？

- 本商品と ADSL モデムまたは回線終端装置は LAN ケーブルで正しく接続されているか
本商品とモデムが正常に接続されていると WAN LED が点灯します。点灯していない場合は、ケーブルを差し直すなどしてみてください。
- 本商品とパソコンは LAN ケーブルで正しく接続されているか
パソコンと本商品が正常に接続されている場合は、パソコンに電源が入っていると本商品の前面にある各 LAN ポートの通信状態 LED が点灯します。パソコンに LAN ボードまたは LAN カードがきちんと挿入されているか、LAN ポートに正しくケーブルが接続されているかを再度確認してください。

⑤その他の接続は大丈夫ですか？

フレッツ・ADSL の場合

- スプリッタの出力ポートの接続は正しいか（電話用と ADSL モデム用があります）
ADSL モデム、スプリッタの取扱説明書をご覧になり確認してください。

⑥パソコンのネットワークアダプタは正しく動作していますか？

- パソコンのネットワークアダプタのドライバの設定は正しいか
「PART2 ネットワークに接続しよう」の「パソコンのネットワークを設定しよう」（P.7）をご覧になり、パソコンのネットワークアダプタが正常に動作していることを再度確認してください。

⑦パソコンのネットワーク設定は正しく行われていますか？

パソコンのTCP/IPが正しく設定されているか

「PART2 ネットワークに接続しよう」の「パソコンのネットワークを設定しよう」(P.7)をご覧ください。になり、パソコンのTCP/IPが正しく設定されていることを再度確認してください。

割り当てられた固定IPアドレスなどが設定されているか

プロバイダから複数の固定IPアドレスを割り当てられている場合は、次の手順でそれぞれのパソコンのネットワーク設定を行ってください。

・Windows XPの場合 (P.7)

「TCP/IPプロトコルを確認する」の手順7「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面で、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」を設定してください。

・Windows 2000の場合 (P.10)

「TCP/IPプロトコルを確認する」の手順5「TCP/IPのプロパティ」画面で、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」を設定してください。

・Windows Me / 98SEの場合 (P.14)

「TCP/IPプロトコルを確認する」の手順5「TCP/IPのプロパティ」画面で、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」を設定してください。

⑧プロバイダからの設定事項を正しく入力しましたか？

契約時の設定事項を本商品およびパソコンに正しく入力したか

「PART2 ネットワークに接続しよう」の「本商品の設定をしよう」(P.21) で設定する、プロバイダからの設定事項をすべて設定ユーティリティに正しく入力しないとインターネットには接続できません。パスワードは入力を間違っても画面上で確かめることができませんので、再度入力をやり直してみてください。大文字/小文字が区別される場合もありますので注意してください。

⑨Webブラウザの設定は正しいですか？

Webブラウザの設定項目は正しいか

Webブラウザの設定についてはプロバイダ契約時の取扱説明書、パソコンに付属の取扱説明書やOSのヘルプなどをご覧ください。

Windows 98SEをお使いの場合、はじめてインターネットに接続すると、インターネット接続ウィザードが表示されます。その場合、次の手順で設定してください。

- 1 「インターネット接続を手動で設定するか、ローカルエリアネットワーク (LAN) を使って接続します」をクリックし、[次へ] をクリックします。
- 2 「ローカルエリアネットワーク (LAN) を使って接続します」をクリックし、[次へ] をクリックします。
- 3 「プロキシサーバーの自動検出」のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。
- 4 「インターネットメールアカウントの設定」画面で「いいえ」をクリックし、[次へ] をクリックします。
- 5 「完了」をクリックします。

パソコンをダイヤルアップ環境で利用されていた場合は、お使いのOSによってはWebブラウザの設定を変更する必要があります。プロバイダ契約時の取扱説明書、パソコンに付属の取扱説明書やOSのヘルプなどをご覧ください。

●パソコン同士が繋がらない

- ・ファイルやプリンタが利用できるようにネットワーク設定をしましたか？

パソコンのネットワーク共有サービスの設定を行う

本商品のLANポートに接続されたパソコン同士がデータのやり取りをするには、共有ネットワークの設定が必要です。複数台のパソコンでデータのやり取りをする場合、WindowsではMicrosoftネットワーク共有サービスを使ったワークグループ接続（ピアツーピア接続）が一般的です。設定方法については、各OSのヘルプをご覧ください。

●本商品の設定ユーティリティが起動しない

- ・パソコンのネットワーク設定は正しくできていますか？

パソコンのTCP/IPが正しく設定されているか

「PART2 ネットワークに接続しよう」の「パソコンのネットワークを設定しよう」(P.7)をご覧ください。になり、パソコンのTCP/IPが正しく設定されているか再度確認してください。

- ・プロキシサーバを使う設定になっていませんか？

Webブラウザのプロキシサーバの設定は正しいか

「PART2 ネットワークに接続しよう」の「Webブラウザの設定をしよう」(P.18)をご覧ください。になり、Webブラウザでプロキシサーバを使用しない設定にしてください。

- ・すでにフレッツ・ADSL／Bフレッツに接続している場合は

これまでパソコンにADSLモデムなどを直接接続して、フレッツ・ADSL／Bフレッツに接続していた場合は、次の点を確認してみてください。

Windows XPで、PPPoE接続の設定がされていませんか？

Windows XPの「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット接続」－「ネットワーク接続」で、「広帯域」の接続が作成されていると、ルータの設定ができません。「広帯域」の接続を削除してください。

通信支援ソフトウェアのインストールをしていませんか？

本商品は「フレッツ接続ツール」や「eo接続ツール」などプロバイダより提供された通信支援ソフトウェアを使用しません。通信ソフトウェアは削除してください。

●本商品の設定ユーティリティにログインできない

- ・別のパソコンがログインしていませんか？

別のパソコンがログインしていないか確認してください。別のパソコンがログアウトしたら、もう一度ログインしなおしてください。

- ・パスワードを忘れた

本商品を工場出荷時の状態に戻してください。パスワードがクリアされます。本商品を工場出荷時の状態に戻す方法は、このPARTの「本商品を工場出荷時の状態に戻す」(P.83)をご覧ください。パスワードを設定したい場合は、このPARTの「本商品のログイン名（ユーザ名）、パスワードを変更したい」(P.78)をご覧ください。になり、再設定してください。



本商品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいますので、再設定する必要があります。

●ファームウェアのアップデートに失敗した

本商品を工場出荷時の状態に戻してから、再度、ファームウェアのアップデートを行ってください。本商品を工場出荷時の状態に戻す方法は、このPARTの「本商品を工場出荷時の状態に戻す」(P.83)をご覧ください。



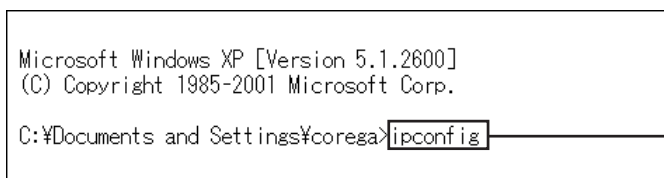
本商品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいますので、再設定する必要があります。

●パソコンのIPアドレスを調べたい

パソコンのIPアドレスを調べるには、次の方法を行ってください。Windows以外のOSについては、OSのヘルプや取扱説明書をご覧ください。

■ Windows XP / 2000 の場合

- 1 「スタート」 - 「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」) - 「アクセサリ」 - 「コマンドプロンプト」をクリックします。
- 2 キーボードから「ipconfig」と入力して、「Enter」キーを押します。パソコンのIPアドレスが表示されます。

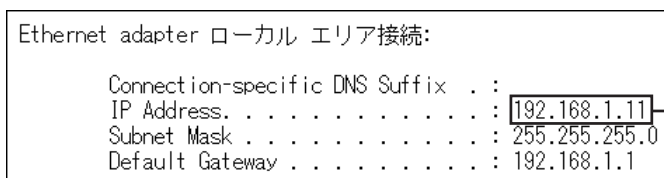


「ipconfig」と入力します。

※画面例

「C:¥Documents and Settings ¥corega」の部分は、パソコンの使用環境によって表示が異なります。

- 3 IPアドレスを確認します。



IPアドレスが表示されます。

※正しく表示されない場合は、「ipconfig /renew」と入力して、「Enter」キーを押します(■は半角スペースを入力します)。

■ Windows Me / 98SE の場合

- 1 「スタート」 - 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 2 「名前」の欄に「winipcfg」と入力して、「[OK]」をクリックします。
- 3 パソコンで使用しているネットワークアダプタを選択すると、パソコンのIPアドレスが表示されます。正しく表示されない場合は、「解放」をクリックした後、「書き換え」をクリックしてください。



①ご使用のネットワークアダプタを選択します。

※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。

②確認します。

●本商品のログイン名(ユーザ名)、パスワードを変更したい

本商品のログイン名 (ユーザ名)、パスワードは、次の手順で変更できます。

- 1 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」画面を表示させます。
- 2 「管理者ログイン名」、「管理者ログイン・パスワード」、「パスワードの確認」に新しく設定するログイン名とパスワードを入力して「更新」をクリックします。

システム設定 **HELP**

管理者ログイン名	root
管理者ログイン・パスワード	
パスワードの確認	
IPマスカレード・テーブル保持時間	10 分(10 ~ 300)
URL ホーム	corega.home
ダイレクトPPPoE	無効
時間設定	自動設定
工場出荷時の状態へ戻す	実行
システム・リポート	実行
設定保存	保存
設定読込	読込
ファームウェア更新	

更新 取消 戻る

①新しく設定するログイン名を入力します。

②新しく設定するパスワードを入力します。

③確認のため②で入力したパスワードを再度入力します。

④「更新」をクリックします。

●最新のファームウェアを入手してアップデートしたい

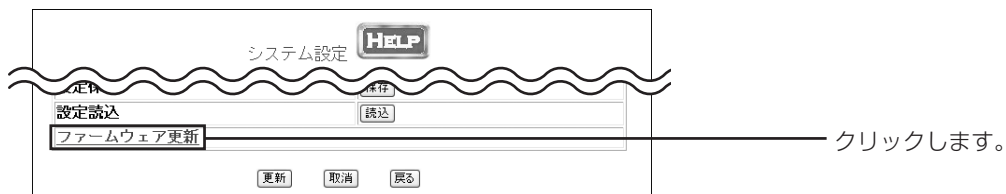
本商品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアは弊社のホームページ（<http://corega.jp/>）から入手してください。



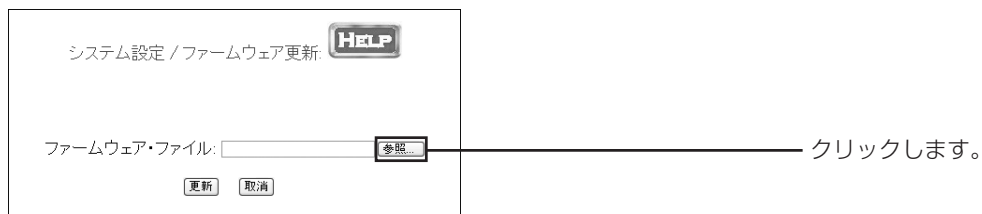
- ・更新するファームウェアのバージョンによっては、お客様が更新前に設定されたデータが反映されない場合があります。
- ・ファームウェアをアップデートする前に、本商品の設定内容をメモしておいてください。
- ・ファームウェアをアップデート中は、他の操作を行ったり、本商品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗したり、本商品の故障の原因となる場合があります。

ここでは例として「C:\corega」という名前のフォルダに「XXXXXX.xxx」というファイルを保存した場合で説明します。

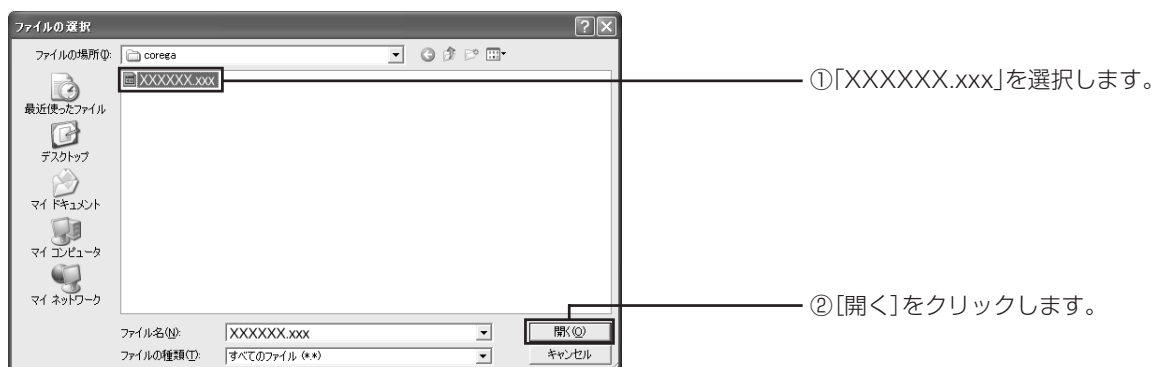
- 1 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」画面を表示させます。
- 2 「ファームウェア更新」をクリックします。



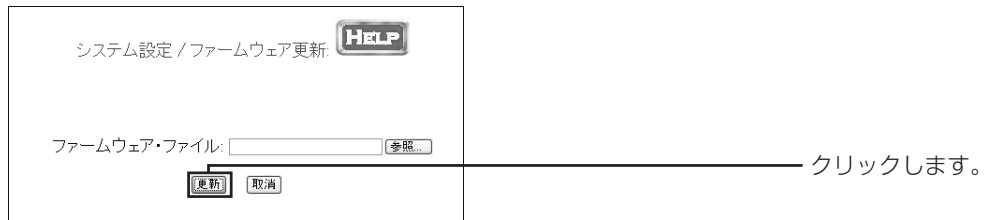
- 3 「参照」をクリックします。



- 4 「C:\corega」内の「XXXXXX.xxx」を選択し、「開く」をクリックします。



- 5 [更新] をクリックします。



- 6 次のダイアログボックスが表示されたら [OK] をクリックします。クリックすると、ファームウェアの更新処理が開始されます。



- 7 更新作業が終了したら、初期化スイッチを使って本商品を工場出荷時の状態に戻してください。詳しくは「本商品を工場出荷時の状態に戻す」(P.83) をご覧ください。

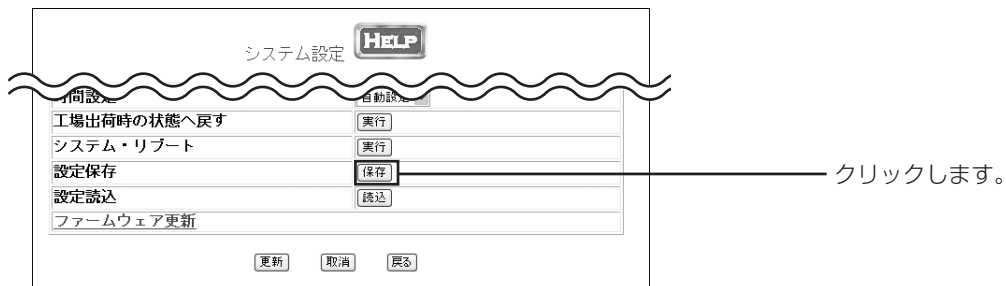
以上でファームウェアの更新は終了です。

●本商品の設定のバックアップを取る／元に戻す

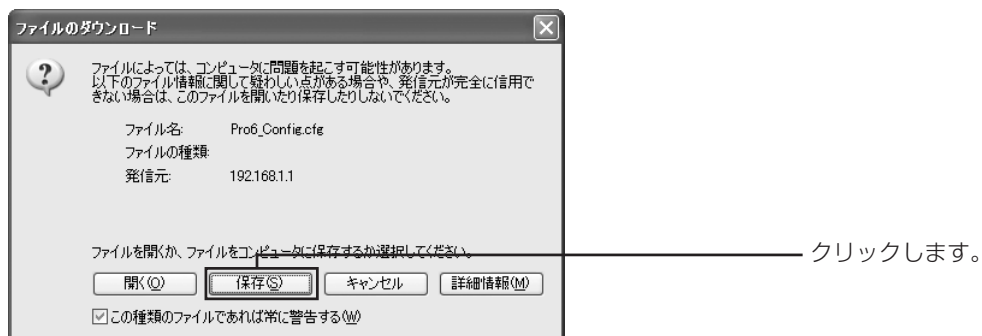
現在の設定内容をバックアップし、何らかの原因で設定内容が壊れたりした場合に、保存してあるバックアップファイルを使用して、設定を元に戻すことができます。

■バックアップを取る

- 1 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」画面を表示させます。
- 2 「設定保存」の「保存」をクリックします。



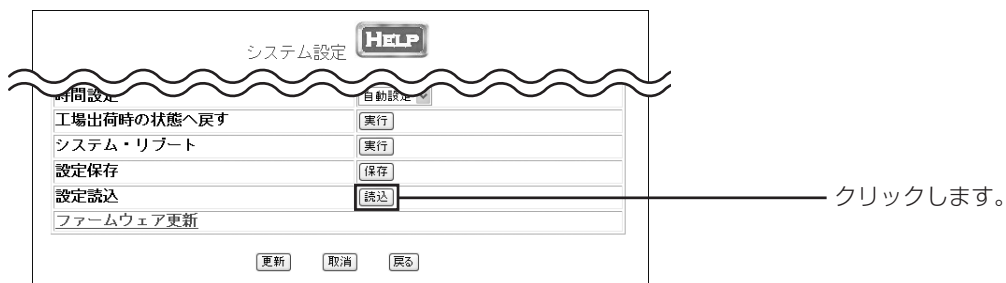
- 3 「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスが表示されたら「保存」をクリックします。



- 4 「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されますので、「保存」をクリックし、保存する場所を指定してファイルを保存します。

■元に戻す

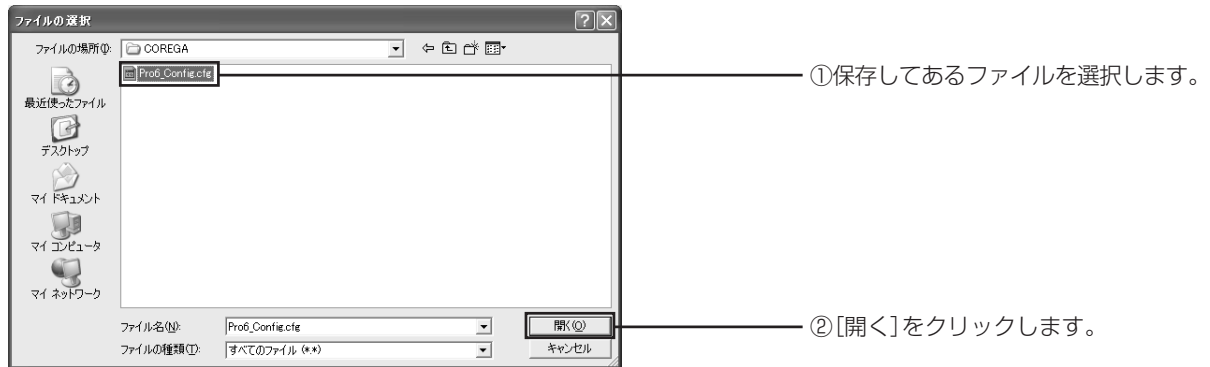
- 1 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」画面を表示させます。
- 2 「設定読込」の「読込」をクリックします。



- 3 画面が表示されたら、[参照] をクリックします。



- 4 前ページ「本商品の設定のバックアップを取る」で保存したファイルを選択して、[開く] をクリックします。



- 5 [読込] をクリックします。



以上で、本商品の設定を元に戻すことができました。

●本商品を再起動する

本商品のシステムを再起動します。設定を変更した場合には、再起動して設定内容を反映させてください。「本商品を再起動する」操作や「工場出荷時の状態に戻す」操作とは異なりますのでご注意ください。本商品を再起動するには、次の2つの方法があります。

■初期化スイッチを使って本商品を再起動する

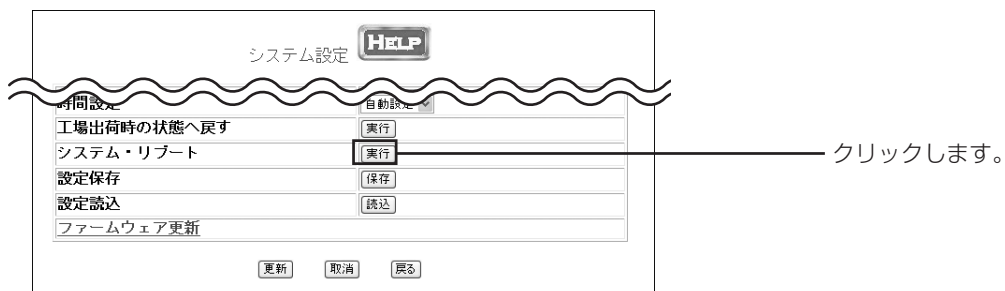
- 1 本商品の電源が入っている状態で、クリップなど堅くて先の細いものを使用し、本商品背面にある初期化スイッチを押します。
- 2 初期化スイッチを3秒未満で離します。しばらくしてLANのLEDが消灯し、再び点灯しなおしたら、再起動は完了です。



初期化スイッチを10秒以上押すと、本商品の設定が工場出荷時の状態に戻ってしまいますのでご注意ください。

■設定ユーティリティを使う

- 1 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」画面を表示させます。
- 2 「システム・リブート」の「実行」をクリックします。



- 3 「システム・リブートを実行しますか?」と表示されるので、「OK」をクリックします。



- 4 システム・リブート中に、電源 LED が消え、再び点灯したら再起動の完了です。

●本商品を工場出荷時の状態に戻す

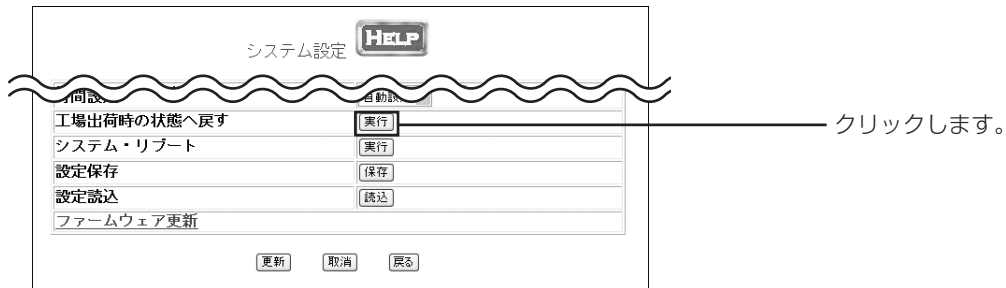
本商品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定した情報が初期値に戻ってしまいますので、重要な設定をしている場合は、設定内容をメモに書き残したり、「本商品の設定のバックアップを取る／元に戻す」(P.80)を実行し、再設定できるようにしておいてください。本商品を工場出荷時の状態に戻すには、次の2つの方法があります。

■初期化スイッチを使う

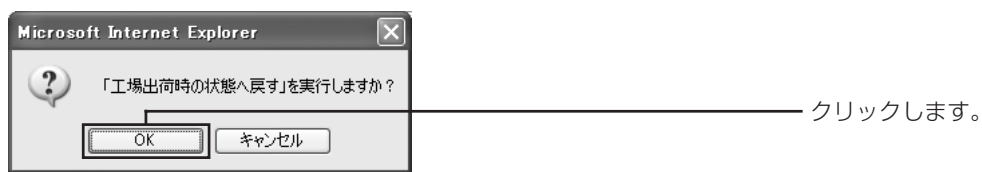
- 1 本商品の電源が入っている状態で、背面の初期化スイッチを押します。初期化スイッチはクリップなど堅くて細いもので押してください。
- 2 初期化スイッチを10秒以上押すと、ステータスLEDが点滅します。その後再び点灯したら初期化スイッチを離します。
- 3 ステータスLEDが消灯すると、本商品が工場出荷状態に戻ります。

■設定ユーティリティを使う

- 1 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」画面を表示させます。
- 2 「工場出荷時の状態へ戻す」の「実行」をクリックします。



- 3 「工場出荷時の状態へ戻す」を実行しますか? と表示されるので、[OK] をクリックします。



- 4 「処理しました」と表示されますので、「完了」をクリックします。

コレガのホームページの情報を活用する

コレガのホームページでは、お客様からのよくあるお問い合わせ情報やネットワークの一般知識を分かりやすく解説しています。困っていることの解決方法を見つけてください。

<http://corega.jp/>

それでも解決しなかったら…

以上のことをしても解決しなかったときは、弊社サポートセンタまでお問い合わせください（弊社サポートセンタの連絡先については、付属の「はじめにお読みください」をご覧ください）。

MACアドレスについて

ご契約されているプロバイダやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、ADSL モデムなどに直接接続するネットワーク機器（本商品も含むパソコンなど）の MAC アドレスをプロバイダに事前申請してください。

本商品の MAC アドレスは本体底面に記載されております。

LAN 側の MAC アドレスについては、設定ユーティリティのステータス (P.41) で確認できます。

おことわり

- ・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

Copyright©2005 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

フレッツは、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器は各メーカーの商標または登録商標です。

2005年8月 初版

2006年8月 第二版